

特記仕様書

工事名称	大和人権文化センター改修工事
工事場所	三原市大和町下徳良
建物概要	<ul style="list-style-type: none">・構造 鉄筋コンクリート造2階建て・床面積 544㎡・建設年 昭和55年
工事内容	大和人権文化センターについて、耐震改修工事を行う。 [工事概要] <ul style="list-style-type: none">・耐震改修工事・内壁アスベスト吹付材除去等・給排水衛生工事
準 則	公共建築工事標準仕様書(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(最新版)、建築物解体工事共通仕様書(最新版)に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法, 同施行令, 同施行規則・消防法, 同施行令・建設業法, 同施行令, 同施行規則・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・大気汚染防止法, 石綿障害予防規則・振動規制法・土壌汚染対策法・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工 期	本工事は受注契約締結の後、令和5年3月20日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。
留 意 点	<ul style="list-style-type: none">・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設の通路等の制限を行う。ただし、事前に施設管理者への説明を行い、承諾を得るものとする。・「低騒音型、低振動型建設機械」として指定を受けた機械を使用すること。・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音、振動及び粉塵等の対策については最大限配慮した

施工方法を採用すること。

- 施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。
- 施設の物品に養生や移動を行う場合は、事前に管理者に連絡すること。
- 解体工事及びアンカー工事等の騒音、振動及び粉塵等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等、施設使用者へ最大限配慮した計画のもと行うこと。
- 地盤掘削は、埋設配管等に注意しながら慎重に行うこと。
- 工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、搬出入車両があるときは工事用出入口に誘導員を配置し、危険防止に努めること。
- 本工事で見込む交通誘導員について、実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- 工事中に粉じんの発生が予想される工種については、粉じん抑制等、周辺環境対策のため散水を確実に行うこと。
- 騒音、振動及び粉塵等については、騒音計、振動計、デジタル粉塵計を設置し、十分な管理及び対策に努め、また施工方法も配慮すること。
- 第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。
- 工事に支障となる雨水、湧水、洗浄水等の排水については、ノッチタンクにより汚泥等の処理を行ったうえ、適切に排水すること。
- 石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、建築物石綿含有建材調査者、日本アスベスト調査診断協会の登録者が行うこと。
- 石綿含有建材の事前調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- 施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- 本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- 仮設内部足場は本工事に見込んでおり、別途工事業者は無償で使用できるものとする。
(維持管理上必要な費用は各業者で協議の上分担すること。)
- 足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事受注者も使用できるものとする。
- 仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の手続きについては、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- 工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- 工事場所以鉄道と近接しているため、鉄道管理者と協議のうえ、必要となる手続きを行うこと。
- 周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及び補修を行なうこと。
- 台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむ等の対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- 図面に明示されていない事項であっても、工地上必要とされる事は工事範囲とする。
- 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- 工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- 行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- 工事完了後、完成図として製本図面(二つ折り・A3縮小判)を3部提出すること。

I. 工事概要
1. 工事名称: 大和人権文化センター改修工事
2. 工事場所: 広島県三原市大和町下徳良
3. 敷地面積: 544㎡
4. 構造規模: 鉄筋コンクリート造 (2階建て)
5. 工事種目: 改修工事
6. 別途工事:
7. 調査協力について
8. 公衆災害防止措置
9. 現状復旧
10. 主要資材等
II. 建築改修工事仕様

仕様書
1 一般共通事項
2 建設発生土
3 環境への配慮
4 材料の品質等
5 中間技術検査
6 工事写真等
7 完成時の提出図書
8 電子納品
9 工事中情報共有システム
10 施工図及び施工計画書
11 設備工事との取合い
12 撤去部分
13 適用区分
14 騒音・振動の防止
15 工中の安全確保
16 実施工程表
17 工程報告
18 保証書

表: 仕様書詳細
項目: 適用基準等, 電気保安技術者, 工事実績情報の登録, 施工条件, 工事安全計画書, 発生地の処理等, 技術士
内容: 公共建築工事標準仕様書, 建築工事標準仕様書, 建築工事標準詳細図, 建築工事安全施工技術指針, 建築工事安全管理指針, 建築改修工事安全管理指針, 建築解体工事共通仕様書, 受注者は、受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注、変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録内容確認書を監督職員に提出しなければならない。また、途中変更時の登録が変更内容とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

表: 技術士
表: 撤去部分
表: 適用区分
表: 騒音・振動の防止
表: 工中の安全確保
表: 実施工程表
表: 工程報告
表: 保証書

表: 環境配慮改修工事
表: 化学物質の濃度測定
表: 中間技術検査
表: 工事写真等
表: 完成時の提出図書
表: 電子納品
表: 工事中情報共有システム
表: 施工図及び施工計画書
表: 設備工事との取合い
表: 撤去部分
表: 適用区分
表: 騒音・振動の防止
表: 工中の安全確保
表: 実施工程表
表: 工程報告
表: 保証書

表: 足場その他
表: 既存部分の養生
表: 仮設間仕切り
表: 工事用水
表: 工事用電力
表: 工事現場の表示
表: 出入口の養生
表: セキュリティー設備
表: 防水改修工事
表: 既存防水層の処理
表: 既存防水層の地下地盤補修
表: アスファルト防水
表: 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
表: 平場の保護コンクリートの厚さ
表: 排水設備
表: 排水設備の性能

3	防水改修工事	<p>(試験方法)</p> <p>(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求め、パネルの厚さとする</p> <p>(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築物用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する(商業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする)</p> <p>(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う</p> <p>(4) 耐水性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の耐水性試験方法」に準じて行う</p> <p>(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥機」に規定する品質に適合するシリカゲルで調製したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の縦線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さ測定し、それを基準(L1)とする。次に試験体の長さ方向を水平にこぼ立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せしめる。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る</p> <p>吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める $\Delta L = (L2 - L1) / L1 \times 100$ ΔL : 吸水による長さ変化率(%) L1 : 乾燥時の標線間の長さ(mm) L2 : 吸水時の標線間の長さ(mm)</p> <p>(6) 耐凍結融解試験は、JIS A 5422「商業系サイディング」の凍結融解試験方法により行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観を観察する(商業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする)。-20±3℃の空气中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする</p> <p>(7) 耐衝撃性試験は、JIS A 1408「建築物用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは記号(W1-1000又はW2-500)とする。金属製台板の積算変形量は、最大くぼみ深さを測定する</p>																																																																										
4	外壁改修工事(共通事項)	<p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率の防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・MAC</td> <td rowspan="3">RC-2 RC-3 RC-4</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">製造所の指定による</td> <td rowspan="3">製造所の指定による</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・D-1</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける</td> </tr> <tr> <td>・D-3 ・D-4</td> <td>製造所の指定による</td> <td>製造所の指定による</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M3D ・POD</td> <td rowspan="2">RC-2 D-3 D-4</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・D-1 ・M3D ・M4D</td> <td>RC-2 D-1 D-2</td> <td>(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保護板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) : 25mm</td> <td>製造所の指定による 製造所の指定による</td> <td>製造所の指定による 製造所の指定による</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング膜製造所の指定による 屋根露出防水断熱工法の場合の、ルーフトレンドレナリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・P1E ・P2E</td> <td rowspan="2">E-1 E-2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシート防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率の防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・M4S</td> <td rowspan="2">AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M3AS</td> <td rowspan="2">AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POAS</td> <td rowspan="2">AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1</td> <td>AS-T1 AS-J1</td> <td>(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保護板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) : 25mm</td> <td>製造所の指定による 製造所の指定による</td> <td>製造所の指定による 製造所の指定による</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による 押え金物 ※改質アスファルトシート製造所の仕様による</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考	・MAC	RC-2 RC-3 RC-4			製造所の指定による	製造所の指定による		・D-1	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける	・D-3 ・D-4	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	・M3D ・POD	RC-2 D-3 D-4			製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	・D-1 ・M3D ・M4D	RC-2 D-1 D-2	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保護板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) : 25mm	製造所の指定による 製造所の指定による	製造所の指定による 製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	工法	種別	施工箇所	備考	・P1E ・P2E	E-1 E-2		保護層 ・設ける ・設けない	押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 図示	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考	・M4S	AS-T1 AS-T2 AS-J2			製造所の指定による	製造所の指定による		・M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	・POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	AS-T1 AS-J1	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保護板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) : 25mm	製造所の指定による 製造所の指定による	製造所の指定による 製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考																																																																						
・MAC	RC-2 RC-3 RC-4			製造所の指定による	製造所の指定による																																																																							
							・D-1	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける																																																																		
											・D-3 ・D-4	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																																														
・M3D ・POD	RC-2 D-3 D-4			製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																																																						
							・D-1 ・M3D ・M4D	RC-2 D-1 D-2	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又は JIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保護板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) : 25mm	製造所の指定による 製造所の指定による	製造所の指定による 製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																																																
工法	種別	施工箇所	備考																																																																									
・P1E ・P2E	E-1 E-2		保護層 ・設ける ・設けない																																																																									
				押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 図示																																																																								
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考																																																																						
・M4S	AS-T1 AS-T2 AS-J2			製造所の指定による	製造所の指定による																																																																							
							・M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																																																	
・POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																																																								
					・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	AS-T1 AS-J1	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保護板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) : 25mm	製造所の指定による 製造所の指定による	製造所の指定による 製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																																																		
5	改質アスファルトシート防水	<p>(3.1.4) (3.2.6) (3.4.2,3)</p>																																																																										
6	合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>(3.1.4) (3.2.6) (3.5.2~4) (表3.5.1~3)</p>																																																																										
7	建築防水	<p>(3.1.4) (3.2.6) (3.6.2,3)</p>																																																																										
8	ケイ酸系塗布防水	<p>(9.6.1~2) (表9.6.1~2)</p>																																																																										
9	シーリング	<p>(3.1.4) (3.7.2) (3.7.4~7)</p>																																																																										

3	防水改修工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率の防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・POS ・SAS</td> <td rowspan="2">S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・SSS</td> <td rowspan="2">S-F1 S-F2</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・MAS</td> <td rowspan="2">S-M1 S-M2 S-M3</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POSI ・SSSI ・SASI ・MASI</td> <td rowspan="2">SI-F1 SI-F2</td> <td rowspan="2">(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c)(3) (II)による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用¹⁾・ ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・SI-M1 ・SI-M2</td> <td rowspan="2">(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c)(3) (I)による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">製造所の指定による</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率の防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・SSS</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">平場のモルタル塗り ・床塗り工法</td> <td rowspan="2">高日射反射率の防水の適用</td> <td rowspan="2">立ち上り部の保護モルタル塗り厚さ ※7mm以下</td> </tr> <tr> <td>・下地粉砕塗り ・改修標準仕様書6.15.6 (b) (2)及び(3)に準ずる</td> <td>※改修標準仕様書6.15.6 (c) (1)に準ずる</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 : 接着工法、機械的固定工法 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による 地盤用シート等の材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上で防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した鋼板 脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシート製造所の指定による 脱気装置の種類 : 設置数量 : 個/m² 既存防水下地がPCコンクリート部及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理 ・行つて ・行わない PCコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、S1-F1、S-C1の場合) ・行つて ・行わない ALCパネル下地の入隅部の増張り (種別S-C1の場合) ・行つて ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考	・POS ・SAS	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3			製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	・SSS	S-F1 S-F2	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない	・MAS	S-M1 S-M2 S-M3	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない	・POSI ・SSSI ・SASI ・MASI	SI-F1 SI-F2	(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c)(3) (II)による	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない	・SI-M1 ・SI-M2	(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c)(3) (I)による	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考	・SSS		平場のモルタル塗り ・床塗り工法	高日射反射率の防水の適用	立ち上り部の保護モルタル塗り厚さ ※7mm以下	・下地粉砕塗り ・改修標準仕様書6.15.6 (b) (2)及び(3)に準ずる	※改修標準仕様書6.15.6 (c) (1)に準ずる
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考																																											
・POS ・SAS	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3			製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																											
							・SSS	S-F1 S-F2	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない																																						
・MAS	S-M1 S-M2 S-M3	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない																																													
					・POSI ・SSSI ・SASI ・MASI	SI-F1 SI-F2	(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c)(3) (II)による	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用 ¹⁾ ・ ・設けない																																							
・SI-M1 ・SI-M2	(材質) ※改修標準仕様書3.5.2(c)(3) (I)による	製造所の指定による	製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない																																													
					種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率の防水の適用	備考																																								
・SSS		平場のモルタル塗り ・床塗り工法	高日射反射率の防水の適用	立ち上り部の保護モルタル塗り厚さ ※7mm以下																																													
					・下地粉砕塗り ・改修標準仕様書6.15.6 (b) (2)及び(3)に準ずる	※改修標準仕様書6.15.6 (c) (1)に準ずる																																											
10	外壁改修工事(共通事項)	<p>(3.8.2,3)</p>																																															
11	アルミニウム製窓木	<p>(3.9.2~3)</p>																																															
1	可とう性エポキシ樹脂	<p>(4.2.2)</p>																																															
2	ポリマーセメントモルタル	<p>(4.2.2)</p>																																															
3	バネ状エポキシ樹脂	<p>(4.2.2)</p>																																															
4	エポキシ樹脂モルタル	<p>(4.2.2)</p>																																															

4	外壁改修工事(共通事項)	<p>この材料種別 ○硬質ポリ塩化ビニル管 カラー・ルーフトレンドレナ(改修用+重ドレン)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ろくろ用(○縦型・横型)</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ロッキング保温断熱及びびびり防止ポリスチレンフォーム保温断熱のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 断熱材の取り扱いは、改修標準仕様書表3.8.5による たてどまらぬ金物の取付け ※図示 ルーフトレンドレナの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p> <p>種類 : オープン形式(・押し出し型)・押し出し型(押し出し350形) ・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式)</p> <p>表面処理 種類 () 種 皮膜等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) 着色(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) 既存窓木等の撤去 : 行つて ・行わない 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 窓木の固定金具の取付方法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>品質性能等 比率 : 表示値±0.10、押し出し : 6.0秒以下 スランプ : 3mm以下、加熱減量 : 5%以下 引張強さ : 常温時 : 1.0N/mm²以上、低温時 : 1.0N/mm²以上、加熱劣化 : 1.0N/mm²以上 伸び : 常温時 : 3.0%以上、低温時 : 3.0%以上、加熱劣化 : 3.0%以上 引張伸び率 : 最大引張力 : 常温時 : 1.0N/mm²以上 破断時の伸び : 常温時 : 1.0%以上 (1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) 対象とする被着体を濡らす。かつ周囲を汚染しないこと。 (3) 常温・常温(温度5~35℃、湿度45~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。</p> <p>(試験方法) 1) 試験室の状態 : 試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5(標準雰囲気)に規定する標準雰囲気2級(温度23±2℃、湿度(50±10)%をいう)をいう。 2) 押し出し : JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補修用エポキシ樹脂」の5.12押し出し試験による。 3) スランプ : JIS A 6024の5.10(スランプ試験B法)による。 4) 引張強さ : JIS A 6024の5.15(引張強さ試験)による。 5) 引張伸び率 : JIS A 6024の5.19(引張伸び率試験)による。 6) 加熱減量 : JIS A 6024の5.27(加熱減量試験)による。 7) 密度 : JIS A 6024の5.29(密度)による。</p> <p>品質性能等 たれ : 下り量 : 5mm以内、表面状態 : ひび割れの発生がないこと。 曲げ強さ : 0.0N/mm²以上、圧縮強さ : 2.0.0N/mm²以上 透水性 : 標準時 : 1.0N/mm²以上、浸透時 : 0.8N/mm²以上、低温時 : 0.5N/mm²以上 透水係数 : 裏面に、水流の付着がないこと (1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エポキシ樹脂は、常温常態において製造後6ヶ月保存しても変質がないこと。</p> <p>品質性能等 初期硬化性(標準) : 2.0N/mm²以上、接着強さ(標準) : 6.0N/mm²以上 圧縮強さ : 50.0N/mm²以上、曲げ強さ : 30N/mm²以上、硬化収縮率 : 3.0%以下 (1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (2) 対象とする被着体を濡らす。かつ周囲を汚染しないこと。 (3) 常温・常温(温度5~35℃、湿度45~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。</p> <p>(試験方法) 1) 試験室の状態 : 試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5(標準雰囲気)に規定する標準雰囲気2級(温度23±2℃、湿度(50±10)%をいう)をいう。 2) 接着強さ : JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補修用エポキシ樹脂」の5.13(接着強さ試験A法)による。 3) 曲げ強さ : JIS A 6024の5.21(曲げ強さ試験B法)による。 4) 圧縮強さ : JIS A 6024の5.22(圧縮強さ試験A法)による。 5) 硬化収縮率 : JIS A 6024の5.25(硬化収縮率試験)による。 6) 初期硬化性 : JIS A 6024の5.28(初期硬化性試験)による。</p> <p>品質性能等 接着強さ : 1.0N/mm²以上 圧縮強さ : 20.0N/mm²以上 曲げ強さ : 5日後の値 1.0N/mm²以上 (1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 (2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 (3) 「労働安全衛生法」に基づき「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 (4) 形状に異常がなく、たれが生じないこと。 (5) 常温・常温(温度5~35℃、湿度45~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、上記品質性能等の規定に適合していること。</p> <p>(試験方法) 1) 試験室の状態 : 試験室は、特に指定のない限り、標準状態とする。 標準状態とは、JIS K 7100「プラスチック状態調節及び試験のための標準雰囲気」の5(標準雰囲気)に規定する標準雰囲気2級(温度23±2℃、湿度(50±10)%をいう)をいう。 2) たれ : JIS A 6024(2015)「建築補修用及び建築補修用エポキシ樹脂」の5.11(たれ試験)による。 3) 接着強さ : JIS A 6024の5.14(接着強さ試験B法)による。 4) 曲げ強さ : JIS A 6024の5.20(曲げ強さ試験A法)による。 5) 圧縮強さ : JIS A 6024の5.23(圧縮強さ試験B法)による。</p>	種別	施工箇所	○ろくろ用(○縦型・横型)	図示による	・バルコニー用	図示による	・バルコニー中継用	
種別	施工箇所									
○ろくろ用(○縦型・横型)	図示による									
・バルコニー用	図示による									
・バルコニー中継用										
4	外壁改修工事(共通事項)	<p>品質性能等 保水率 : 7.0%以上 単位容積質量 : 1.8kg/L以上 接着強さ : 標準時 : 0.0N/mm²以上、温冷繰り返し後 : 0.4N/mm²以上 長さ変化率 : 0.2%以下 曲げ強さ : 4.0N/mm²以上</p> <p>試験方法 イ) 試験体の調製 製造業者の定める、正味質量と標準値よりより算出し、所定量の材料とする。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」09.11に規定する練り混ぜ機を用い、練り混ぜに用意した水を入れ、練り混ぜながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて使用し、これを試験体とする。 ロ) 保水率 JIS R3202「フオートガラス及び磨きガラス」に規定するみがきガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P380「ろ紙(化学分析用)」に規定する5号ろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を配置し、(1)で調製した試験体を平滑に詰込む。 その後、直ちにリング型を上部にガラス板を当てて上下を速やかにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向にこれに直角方向の長さをもろ紙を用いて、1mmの単位で測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / (平均値 × 100) (注) : リング型の内径 mm ハ) 単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 ニ) 標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び付属仕様B-1に規定する普通平板300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水洗しを行い直ちに(1)で調製した試験体を厚さ5mmになるように塗付け、直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装用モザイクタイルで乾式成形の1種(即ち「小口タイル」108mm×60mm×12mm)を4枚2列、計8枚を接着する。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗料」の7.9付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着層を削り取ってアタッチメントを挿し、引張試験機を用いて接着強さを測定する。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm²以上) 2. 適用タイルが「小口タイル・二掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び付属仕様B-1に規定する普通平板300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水洗しを行い直ちに(1)で調製した試験体を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定する外装用モザイクタイルで乾式成形の1種(即ち「小口タイル」108mm×60mm×12mm)を4枚2列、計8枚を接着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ) 温冷繰り返し後の接着強さ (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験体の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗料」の7.10温冷繰り返し試験に準じて行う。試験体の準備は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せしめた後、直ちに-20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次に50±2℃の別の恒温槽中で30時間加熱し、この24時間をサイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目標によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験後の試験体を標準状態で2日間養生させた後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm²以上) 長長さ変化率 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペンション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 ト) 曲げ強さ JIS A 6916「建築用下地調整塗料」7.11曲げ強さ試験に準ずる。</p>								

4	外壁改修工事(共通事項)	<p>図面縮小率 A2版 100% 図面縮小率 A3版 71%</p>		
設計年月日	工事名	A 2版 100% A 3版 71%	図面 No.	100%
R4 . 6.	大和人文化センター改修工事	縮尺	A-O 2	71%
	図面名			
	建築改修工事特記仕様書(2)			



Table with 4 columns: No., Name, Description, and Remarks. Contains project details like 'ひび割れ部改修工法' and '欠損部改修工法'.

Table with 4 columns: No., Name, Description, and Remarks. Contains technical specifications for '目地改修工法' and '外壁複合改修工法'.

Table with 4 columns: No., Name, Description, and Remarks. Contains specifications for '目地改修工法' and '目地改修工法'.

Table with 4 columns: No., Name, Description, and Remarks. Contains specifications for '目地改修工法' and '目地改修工法'.

設計に緑を

5 建築改修工事
(試験方法)
(1) 応答時間 0.3m/secの早さで移動している標準試験体が検出範囲に入ってから、0個値を出力するまでの時間を測定する。
(2) 検出範囲
a. ゴムマットスイッチは、直径100mmの鋼製円柱(質量10kg)を不感部を除く全面に静かに置いたとき、確実に作動すること。
b. 上部取り付け形の動作検出形は、0.15m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき確実に作動すること。
c. 上部取り付け形の静止検出形は、0.05m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき、確実に作動すること。
(注) 取り付け位置など、上記より異なる場合は、当該センサーに適した方法の試験を行う。確実に作動することを確認する。
<試験条件>
(1) 無目付センサー又は天付付センサーの検出体及び検出範囲試験は、JIS A 1516の7.6による。
(2) 熱線スイッチ・・・被検体表面温度、33±12℃とし、周囲温度は、被検体表面温度より5℃(W-00812℃低い値とする。
(3) 超音波スイッチ・・・温度-10℃、湿度75%、風速10m/secとする。
(4) 試験装置の状態は、JIS T 8103「試験場所の標準状態」の常温、常湿による。
(3) 耐放射ノイズ
性能 ※改修標準仕様書表 5.9.1による
(試験)
(1) 耐久性(閉鎖繰り返し)試験 閉鎖については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの動作を確認する試験を行う。
同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。
適用戸質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で戸の閉鎖性能を確認するものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において10万回以上の耐久性能を確認すること、試験に代えることができるものとする。
(2) 耐衝撃試験 落下高さ17mmにて、ドアの中央部をドアが外れる方向に衝撃を与える。
耐衝撃試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効高さは2,000mm、幅900mmとする。
適用戸質量の区分毎に試験を行う。
(3) 気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性能試験方法」による。
シャッターの種類
・ 管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・ 屋内用防火シャッター
・ 防犯シャッター
防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感器は別途とする
閉鎖機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危険防止機構
※改修標準仕様書5.10.2(d)(4)(i)かつ(iii) ・ 改修標準仕様書5.10.2(d)(4)(ii)かつ(iii)
管理用シャッターのシャッターケース(防火、防煙以外) ※設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※Z12又はF12
閉鎖形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質 ※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼材)又は、
JIS G 3318(塗装溶融亜鉛めっきアルミニウム合金鋼板及び鋼材)
スラットの形状 ※インターロック型 ※オーバーラッピング型
シャッターケース ※設ける ・ 設けない
ガイドレールの材質 ※ステンレス製(φUS304)厚さ1.0mm(※中柱柱)
座板(扉の場合) ※ステンレス製鋼板
セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能 ・ 600Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa ・ 1700Pa
閉鎖形式による区分 ※バランスタイプ ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式による区分 ・ スタンダード型 ・ ローヘッド型 ・ ハイリフト型 ・ パーチカル型
ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
16 軽量シャッター
【5.11.2~4】
閉鎖形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質 ※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼材)又は、
JIS G 3318(塗装溶融亜鉛めっきアルミニウム合金鋼板及び鋼材)
スラットの形状 ※インターロック型 ※オーバーラッピング型
シャッターケース ※設ける ・ 設けない
ガイドレールの材質 ※ステンレス製(φUS304)厚さ1.0mm(※中柱柱)
座板(扉の場合) ※ステンレス製鋼板
セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能 ・ 600Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa ・ 1700Pa
閉鎖形式による区分 ※バランスタイプ ・ チェーン式 ・ 電動式
収納形式による区分 ・ スタンダード型 ・ ローヘッド型 ・ ハイリフト型 ・ パーチカル型
ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
17 オーバーヘッドドア
【5.12.2,3】
建具材の加工、組立時の含水率 ※日種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
・ フラッシュ戸
表面材の合板の種類
合板の種類 規格等 備考
○普通合板
表面の樹種
生地、透明塗料塗り
(※70%程度)
不透明塗料塗り
(※10%程度)
板面の品質
(※1)
接着の程度(1種・2種)
・ 天然木化粧合板
樹種名()
接着の程度(1種・2種)
・ 特殊加工化粧合板
化粧加工の方法
(・オールド・フット・塗装)
表面性能()タイプ
接着の程度(1種・2種)
表面積の厚さ ※表16.7.6による
・ かまち戸
かまち樹種() 鏡板樹種()
見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による
・ ふすま
張りの種別(Ⅰ型・Ⅱ型)
上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁(裏地) ・ 生地縁(ウレタンリキヤール塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による
・ 戸ぶすま
見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による
・ 板張り戸
見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による
枠、くつずりの材料 ・ 建具表による
19 ガラス
【3.7】
【5.13.2~4】
【表5.13.1】
・ 合わせガラス
材料板ガラスの種類、組合せ 特性による種類
・ フロート板合わせガラス
・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス
・ 網入りガラス、フロート板合わせガラス
・ 網入りガラス、熱線吸収板合わせガラス
・ 強化ガラス
材料板ガラスによる種類による名称 材料板ガラス 特性による種類
・ フロート強化ガラス
・ フロート強化ガラス
・ 型板強化ガラス
・ 熱線吸収強化ガラス
・ 熱線吸収強化ガラス
・ 熱線吸収フロート強化ガラス
・ 熱線吸収網入り強化ガラス
・ 熱線吸収フロート強化ガラス
・ 熱線吸収網入り強化ガラス
20 ガラス留め材
【3.7】
【5.13.2】
建具の種類 材 種
鋼製及び構成材料 ※ シーリング材
アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット(グレイズンゲンチャンネル形)
ステンレス製 ※ シーリング材
木製 ※ シーリング材
防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による
21 ガラスブロック積み
【6.13.5】
表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 クリア 乳白 平積み 曲面積み 目地(mm) 伸縮調整 防火性能
・ 正方形 ・ 125×125 80 95 ※8~15 外側 ※6mm以下 ごとくに幅10~15 ・ 無し
・ 160×160 95 125 ※15以下 ・ 無し
・ 200×200 95 125 ・ 無し
・ 320×320 95 ・ 無し
・ 長方形 ・ 200×125 80 95 内側 ※6以上
・ 200×160 95
曲面積みの曲面半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金具種及び補強材 ・ 設ける(形状 ※図示) ・ 設けない
材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
寸法 ※図示
形状 ※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色()
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法 ・ 図示
形状 ・ 図示
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法
目地の力量補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示
22 ガラスフィルム
種類 記号 張り面 性能による区分 備考
・ 日射調整フィルム S C ※内張り・外張り ・ A ・ B ・ C 遮光性能
・ ガラス飛散防止フィルム GS ※内張り・外張り ・ A ・ B 飛散防止性能
・ ガラス透過防止フィルム SF ※内張り・外張り ・ A ・ B 透過防止性能
品質 JIS A 5759による
23 付属電気設備
自動扉、電動シャッター、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する。
6 内装改修工事
1 他の部位との取り合い等
【6.1.3】
・ 既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存に準じた仕上げとする ○図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より側面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示
・ 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修
※既存のまま ・ 図示
ビニルシート等の撤去 ※仕上材のみ(接着剤とも)
・ 下地モルタルとも(・図示の範囲) ・ 撤去範囲全て
合成樹脂塗料の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲
※改修部の端部より1m程度 ・ 図示
2 既存床仕上げ材の除去等
【6.2.2】
表面仕上げの種類 施工箇所
・ A種
・ B種
・ C種
3 表面仕上げ
【6.5.1】
表面仕上げの種類 施工箇所
・ A種
・ B種
・ C種
4 装 材
【6.5.2】
・ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用
・ 「製材の日本農林規格」による造作材針葉樹製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用
見入り面 ※上小節 ※A種・B種
見入り面以外 ※上小節以上 ※A種・B種
・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用
見入り面 ※上小節 ※A種・B種
見入り面以外 ※上小節以上 ※A種・B種
・ 「製材の日本農林規格」以外の製材
施工箇所 樹 種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 間伐材等の適用
() ・ 適用する ・ 適用する ※A種
() ・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用しない ・ B種
・ 代用樹脂を使用できない箇所()
5 造作用集成材
【6.5.2】
ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
・ 普通適合板
施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 難燃処理 防炎処理 間伐材等の適用
・ 構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 等級 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 難燃処理 防炎処理 間伐材等の適用
・ パーティクルボード
施工箇所 厚さ(mm) 表板の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分
・ 構造用パネル
施工箇所 厚さ(mm) 等級
・ 防菌防蟻処理
【6.5.5】
・ 防菌防蟻処理が必要な樹種による製材
適用部位: ()
・ 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理
適用部位 処理性能区分
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ 薬剤の塗布等による防菌防蟻処理
適用部位 処理の方法
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
・ ボード原料接着剤への薬剤混入による防菌防蟻処理
適用部位 ()
9 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル
【6.8.2,3】
ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること。
(JIS A 5705(ビニル系床材)に規定されるビニル系床材の種類で記号P Fに該当するものを除く)
○ビニル床シート
種類 記号 色調 厚さ(mm) 工法
※発泡層のないもの ※F S ※ブルー・マープル ※2.0 ※突付け ※熱溶接
※発泡層のあるもの ※ブルー・マープル ※2.5 ※突付け ※熱溶接
○ビニル床タイル
種類 記号 色調 厚さ(mm) 工法
※発泡層のないもの ※F S ※ブルー・マープル ※2.0 ※突付け ※熱溶接
※発泡層のあるもの ※ブルー・マープル ※2.5 ※突付け ※熱溶接
7 床張り用合板等
【6.5.2】
ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
○普通適合板
施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 難燃処理 防炎処理 間伐材等の適用
・ 構造用合板
施工箇所 厚さ(mm) 等級 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 難燃処理 防炎処理 間伐材等の適用
・ パーティクルボード
施工箇所 厚さ(mm) 表板の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分
・ 構造用パネル
施工箇所 厚さ(mm) 等級
・ 防菌防蟻処理
【6.5.5】
・ 防菌防蟻処理が必要な樹種による製材
適用部位: ()
・ 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理
適用部位 処理性能区分
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ 薬剤の塗布等による防菌防蟻処理
適用部位 処理の方法
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
・ ボード原料接着剤への薬剤混入による防菌防蟻処理
適用部位 ()
8 防菌防蟻処理
【6.5.5】
・ 防菌防蟻処理が必要な樹種による製材
適用部位: ()
・ 薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理
適用部位 処理性能区分
・ K2 ・ K3 ・ K4
・ 薬剤の塗布等による防菌防蟻処理
適用部位 処理の方法
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による
・ ボード原料接着剤への薬剤混入による防菌防蟻処理
適用部位 ()
10 ゴム床タイル
【6.9.3~4】
【表6.9.1】
色調 ()
厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法(mm) ()
接着剤は可塑性(弾性率の可塑性を除く)が満たされていないものとする。
接着剤のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
・ 図示
・ 織じゅうたん
種類 バイル形状 織り方 色調等 帯電性 備考
・ A種 ・ かつ、かつ ・ かつ、かつ ・ 無し ・ 適用する
(性能: ※人体帯電圧 3kV以下)
・ B種 ・ かつ、かつ ・ かつ、かつ ・ 無し ・ 適用する
(性能: ※人体帯電圧 3kV以下)
・ C種 ・ かつ、かつ ・ かつ、かつ ・ 無し ・ 適用しない
・ タフテッドカーペット
バイル形状 n'体長さ(mm) 工法 帯電性 備考
・ かつ、かつ ・ 5~7 ・ ※全面接着工法 ・ 適用する
(性能: ※人体帯電圧 3kV以下)
・ かつ、かつ ・ 4~6 ・ ※パッド工法 ・ 適用する
(性能: ※人体帯電圧 3kV以下)
・ かつ、かつ ・ 4 ・ ※パッド工法 ・ 適用する
(性能: ※人体帯電圧 3kV以下)
・ かつ、かつ ・ 無し ・ ※パッド工法 ・ 適用しない
下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・ ニードルパンチカーペット
厚さ(mm) () 帯電性 ・ 適用する(性能: ※人体帯電圧3kV以下)
備考 ()
・ タイルカーペット
バイル形状 種類 施工箇所 寸法 総厚さ(mm) 備考
※ ループバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
※ 第二種
・ カットバイル ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
※ 第二種
・ カット・ループ併用 ※ 第一種 ※ 500×500 ※ 6.5
※ 第二種
タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・ 横溝流し ・ 階段部分 ※横溝流し ・ 市松敷き
見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、形状等 ※図示) ・ 適用しない
13 合成樹脂塗料
種類 施工箇所 工法 仕上げの種類
・ 厚膜型塗料
弾性ウレタン樹脂系塗料 ※平滑仕上げ
・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗料
エポキシ樹脂系塗料 ・ 平滑仕上げ
・ 防汚仕上げ
・ 厚膜型塗料
エポキシ樹脂系塗料 ・ 平滑仕上げ
・ 防汚仕上げ
・ アクリル樹脂塗料
(JIS K 5970)
工法 塗布量(kg/m²)
塗布回数(kg/m²) (回)
・ 平滑
・ 防汚
溶剤 ・ 水性系・溶剤系・無溶剤系
仕上げ色
・ 標準色
塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
単層フローリング
種類 工法 樹種 厚さ(大きさ)(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用
・ フローリング等
・ 釘留め工法(根太張り) ※ なら 15 板幅75 板長さ500以上 ・ 塗装品
・ 無塗装品
・ 釘留め工法(直張り) ※ なら 12以上 板幅75 板長さ300以上
・ 接着工法 ※ なら 12以上 板幅75 板長さ300以上
・ フローリング等
・ 接着工法 ※ なら 15 303×303 ・ 塗装品
・ 無塗装品
・ モルタル埋込工法 ※ なら ※15 ※303×303 ・ 塗装品
・ 無塗装品
・ フローリング等
・ 接着工法 ・ ・ ・ ・ 塗装品
・ 無塗装品
複合フローリング
種類 工法 樹種 厚さ(大きさ)(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用
○天然木化粧複合フローリング
・ 釘留め工法(根太張り) ※ なら ・ A種 ・ 適用する ○塗装品
・ 釘留め工法(直張り) ※ なら ・ B種 ・ 適用しない
・ 接着工法 ※ なら 板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
接着工法の場合の裏面接着材 ※合成樹脂発泡シート
現場塗料仕上げ ・ 行う(施工箇所)
※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワニス塗り ・ 行わない
図面縮小率 A2版 100%
A3版 71%
図面縮小率 A2版 100%
A3版 71%
14 フローリング張り
【6.11.2~6】
【表6.11.1~5】
種類 工法 樹種 厚さ(大きさ)(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用
○天然木化粧複合フローリング
・ 釘留め工法(根太張り) ※ なら ・ A種 ・ 適用する ○塗装品
・ 釘留め工法(直張り) ※ なら ・ B種 ・ 適用しない
・ 接着工法 ※ なら 板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外
接着工法の場合の裏面接着材 ※合成樹脂発泡シート
現場塗料仕上げ ・ 行う(施工箇所)
※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワニス塗り ・ 行わない
図面縮小率 A2版 100%
A3版 71%
図面縮小率 A2版 100%
A3版 71%

Table with multiple columns and rows containing technical specifications for building materials and construction methods. Includes sections for glass, floor coverings, and wall treatments.

Table with multiple columns and rows containing technical specifications for building materials and construction methods. Includes sections for floor coverings, wall treatments, and other construction details.

Table with multiple columns and rows containing technical specifications for building materials and construction methods. Includes sections for floor coverings, wall treatments, and other construction details.

Table with 2 columns: Item No. (15, 16, 17, 18) and Description. Includes details for concrete work, masonry, and floor preparation.

Table with 2 columns: Item No. (19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26) and Description. Includes details for wall and ceiling treatments, insulation, and floor coverings.

Table with 2 columns: Item No. (27, 28, 29) and Description. Includes details for window treatments, wall coverings, and ceiling treatments.

Table with 2 columns: Item No. (30, 31) and Description. Includes details for asbestos removal and final floor treatments.

Main project specification table with columns for items (e.g., 3 ガラス改修工事, 4 断熱・防露改修工事, 5 屋上緑化改修工事), materials, and construction methods. Includes detailed technical requirements for insulation, glazing, and roof greening.



設計に緑を

Project information footer including company name (車田建築設計事務所), address, contact details, and drawing specifications (A2版 100%, A3版 71%, 縮尺 A-O 6).

19 トイレブース (2.0.2.5)

Table with specifications for toilet stalls, including materials like aluminum and stainless steel, and performance requirements for corrosion and fire resistance.

20 排水枘ふた (2.0.2.1)
21 屋根雨水排水 (2.1.2.1, 2)
22 街きよ、縁石、側溝 (2.1.3.1, 2)
23 埋戻し (2.1.2.1)
24 路床 (2.2.2.2, 3, 5)
25 路盤 (2.2.2.2, 3, 6)
26 アスファルト舗装 (2.2.4.2~6)

Technical specifications for drainage and paving, including tables for pipe types, bedding materials, and paving materials with their respective standards and applications.

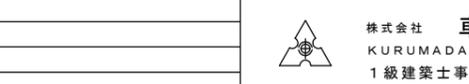
27 コンクリート舗装 (2.2.5.2~6)
28 カラー舗装 (2.2.6.2~4)
29 透水性アスファルト舗装 (2.2.7.2~6)
30 ブロック系舗装 (2.2.8.2, 3)
31 砂利敷き (2.2.9.2)
32 路面標示塗料
33 防火材料
34 階段滑り止め
35 黒板及びホワイトボード
36 煙突ライニング
37 ロールスクリーン
38 アコーデオンドア
39 浴槽

Technical specifications for various paving and finishing materials, including concrete, colored paving, permeable asphalt, and block paving, detailing their composition and performance.

41 くつふきマット
42 旗ざお受金物
43 防護ゴム等の製造検査
44 耐震スリット
45 特殊な形状の金物

Technical specifications for mats, fireproofing, and special hardware, including details on materials, dimensions, and testing procedures.

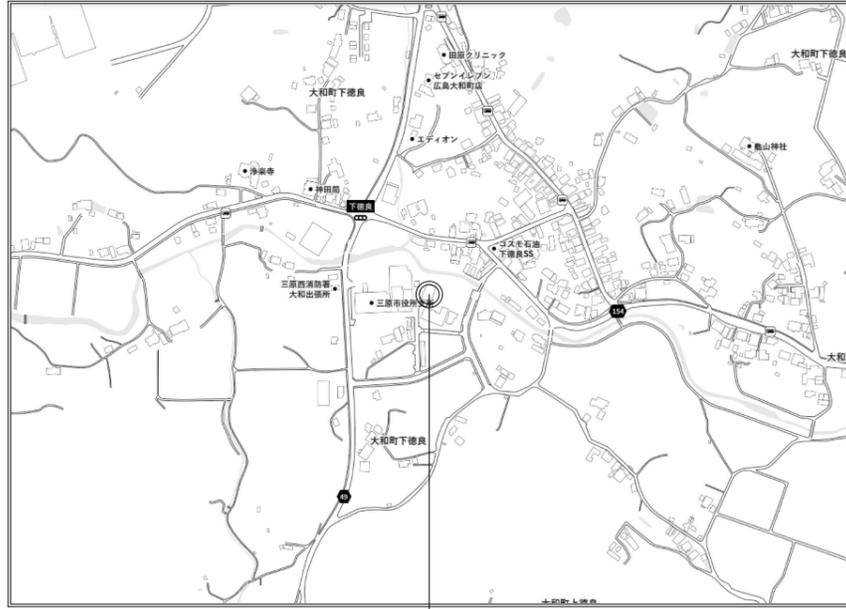
設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛
意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

設計年月日 R4.6.
工事名 大和人権文化センター改修工事
図面縮小率 A2版 100% A3版 71%
図面番号 A-O7



出典：国土地理院

工事場所：広島県三原市大和町下徳良

付近見取図

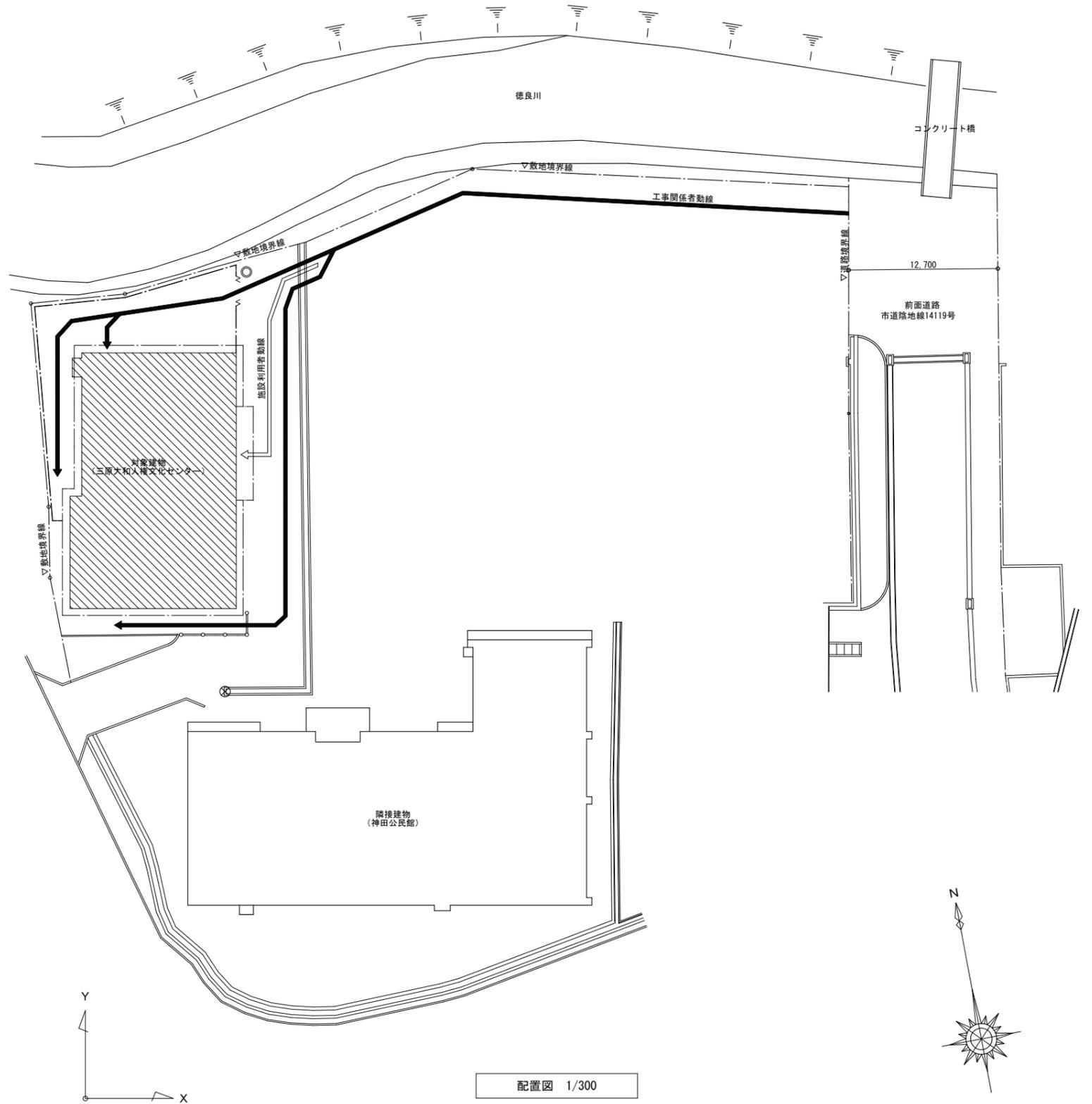
工事概要

工事名称	大和人権文化センター改修工事
用途	集会所
工事場所	広島県三原市大和町下徳良
工事種別	1 片持ち梁補強工事 2 コンクリートブロック改修工事 3 コンクリートブロック改修に伴う機械設備工事
用途地域	都市計画区域外
防火地域	指定なし
主要構造	鉄筋コンクリート造 2階建て

凡例

- 工事対象範囲
- 交通誘導員を示す。
- 仮囲い（成形鋼板H3.0m）：44.4m（屋外階段からの避難経路は塞がないこと。）
- 工事用ゲート（H：視ゲートW3.600×H2.000）
- ガーコントラバー：7.45m
- 工事関係者動線
- 施設利用者動線

設計に緑を



配置図 1/300



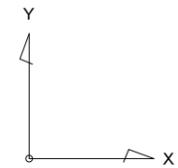
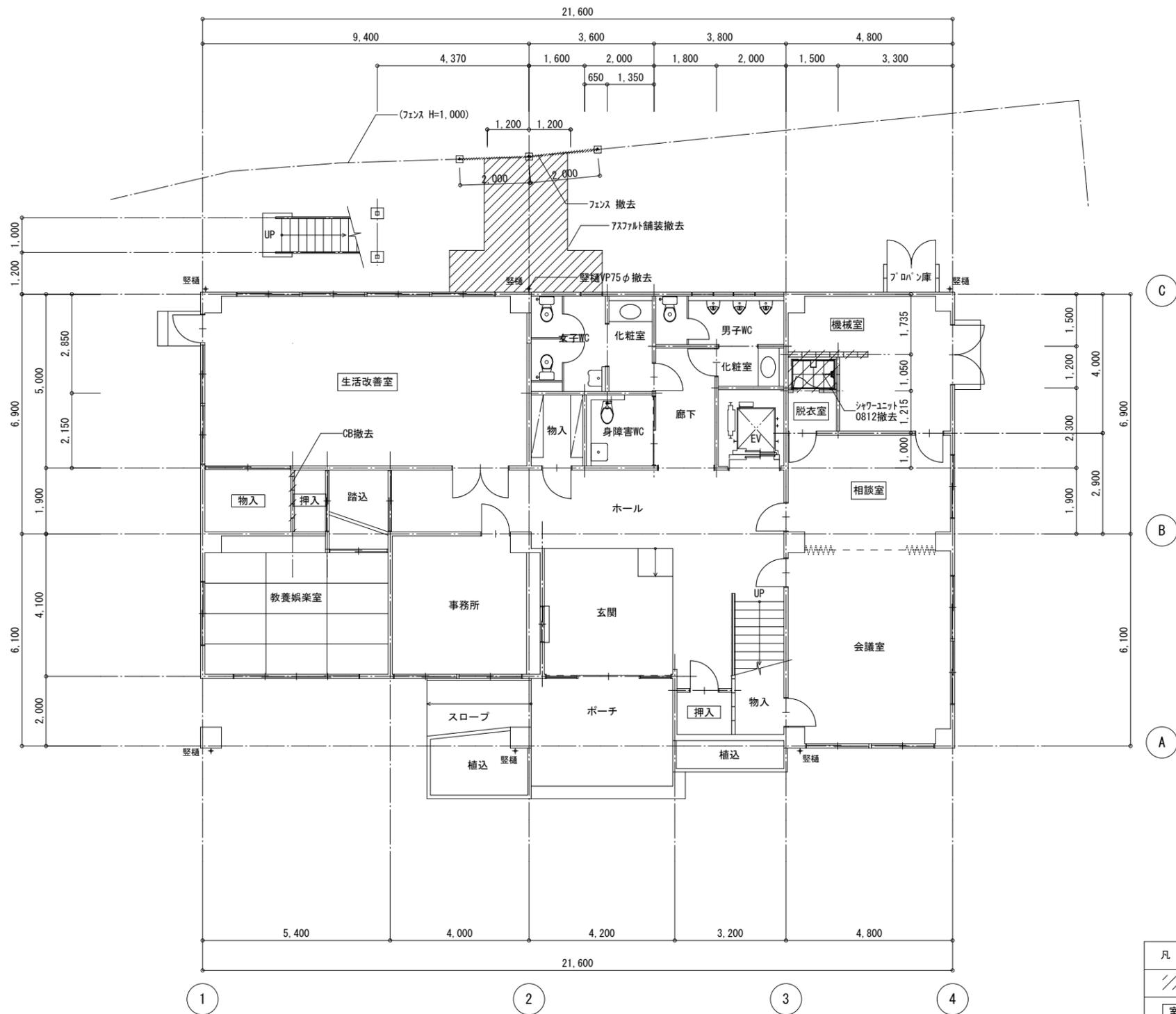
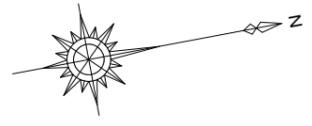
外部仕上表		改修前		改修後	
種別	仕上	種別	仕上	種別	仕上
柱		柱		鉄骨柱 新設	
				165.2φ SOP塗装	
梁裏	(コンクリート打放し仕上げ) 外装薄塗材 撤去	梁裏		(コンクリート打放し仕上げ) 外装薄塗材 吹付	
				BPL-19×200×300 新設 DP塗装	
樋	樋 樋 VP75φ 撤去	樋		樋 樋 VP75φ 新設	

内部仕上表													
階	室名	改修後		床		幅木		壁		天井		天井高	備考
		改修前	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	廻縁			
1	生活改善室(物入)	改修後	(C)	(珪藻土仕上げ)	(合板打放し素地)	(C)	(合板打放し素地)	(C)	(合板打放し素地)	---	3,500		
		改修前	(C)	(珪藻土仕上げ)	(合板打放し素地)	(C)	(合板打放し素地)	(C)	(合板打放し素地)	---	3,500		
	教養娯楽室(押入)	改修後	W 新設	珪藻土板 t=9、根太:42×52@360 新設	雑巾摺 新設	LGS新設	珪藻土板 t=12.5(不燃)×2 新設	LGS新設	珪藻土板 t=9.5(準不燃) 新設	木製 新設	2,200		
		改修前	W 撤去	珪藻土板 t=9、根太:42×52@360 撤去	雑巾摺 撤去	W 撤去	珪藻土板 t=3 撤去	W 撤去	珪藻土板 t=3 撤去	木製 撤去	2,200		
	機械室	改修後	(C)	(珪藻土仕上げ)	---	(C)	(合板打放し素地)	(C)	(合板打放し素地)	---	3,150		
		改修前	(C)	(珪藻土仕上げ)	---	(C)	(合板打放し素地)	(C)	(合板打放し素地)	---	3,150		
	シャワーユニット	改修後		メーカー仕様による 新設			メーカー仕様による 新設		メーカー仕様による 新設	---	---		
		改修前		メーカー仕様による 撤去			メーカー仕様による 撤去		メーカー仕様による 撤去	---	---		
	脱衣室	改修後	(C)	(長尺珪藻土 t=2.0)	(珪藻土 H=75)	(LGS)	(珪藻土 t=12.5(不燃) 珪藻土張り)	(LGS)	(珪藻土 t=9.5(準不燃))	(珪藻土)	2,300		
		改修前	(C)	(長尺珪藻土 t=2.0)	(珪藻土 H=75)	(LGS)	(珪藻土 t=9 珪藻土張り)	(LGS)	(珪藻土 t=9.5)	(珪藻土)	2,300		
	押入(階段下)	改修後	(C)	(珪藻土仕上げ)	---	(CB)	SRFシート張り 新設	(C)	(合板打放し素地)	---	2,600		
		改修前	(C)	(珪藻土仕上げ)	---	(CB)	珪藻土仕上げ 撤去	(C)	(合板打放し素地)	---	2,600		

※仕上名の後に
 【●L1】とあるのは、レベル1による除去が必要なアスベスト含有建材を示す。
 【●L2】とあるのは、レベル2による除去が必要なアスベスト含有建材を示す。
 【●L3】とあるのは、レベル3による除去が必要なアスベスト含有建材を示す。



設計に緑を



凡例 (改修前平面図)	
	撤去部分を示す。
	工事対象室を示す。
	工事対象外室を示す。

改修前1階平面図 1/100

設計に緑を

記事	

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

設計年月日
 R4 . 6.

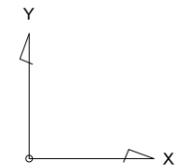
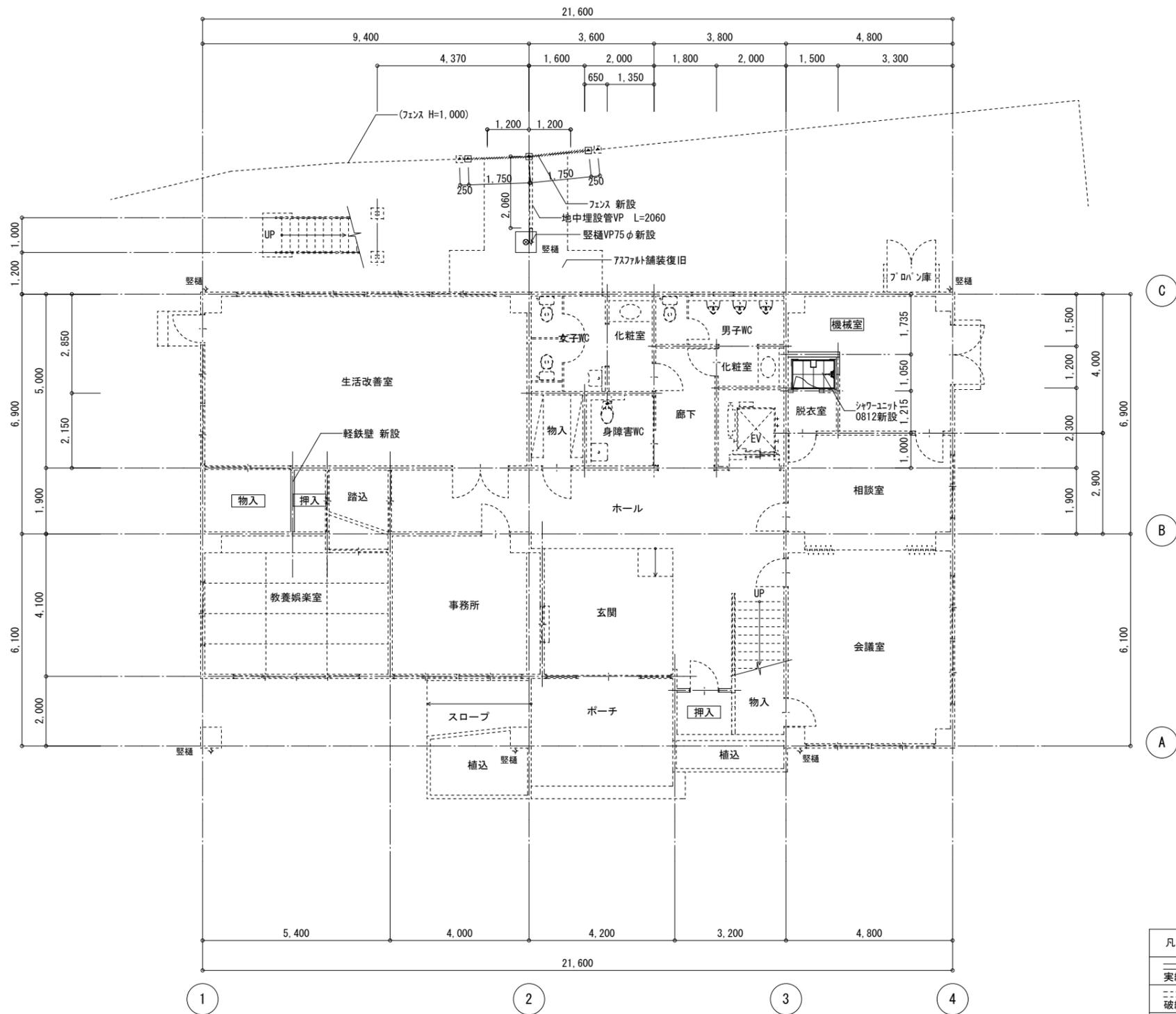
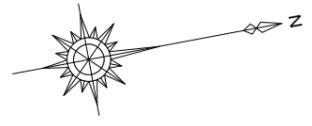
工事名
 大和人権文化センター改修工事

図面名
 改修前1階平面図

A 2版 100%
 A 3版 71%

縮尺
 1/100

図面No
 A-10



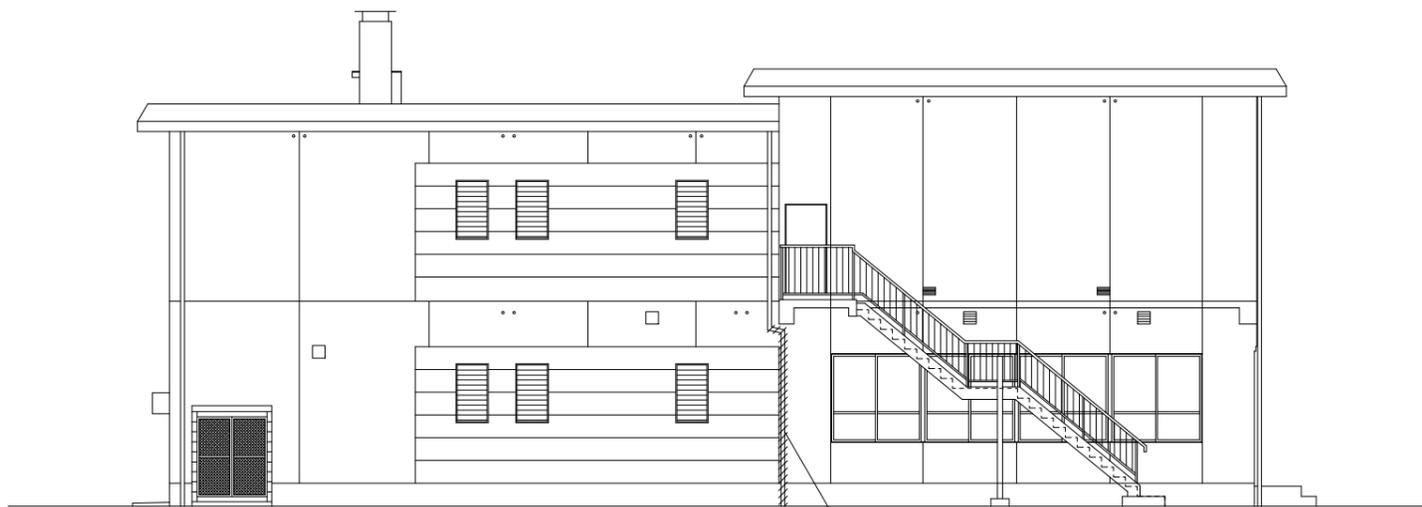
凡例 (改修後平面図)	
	工事部分を示す。
	既存のままを示す。
	工事対象室を示す。
	工事対象外室を示す。

改修後1階平面図 1/100

※埋設物の確認の上、施行を行うこと。

設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No
				R4 . 6.	大和人権文化センター改修工事	A3版 71%	
				図面名	改修後1階平面図	縮尺	
						1/100	



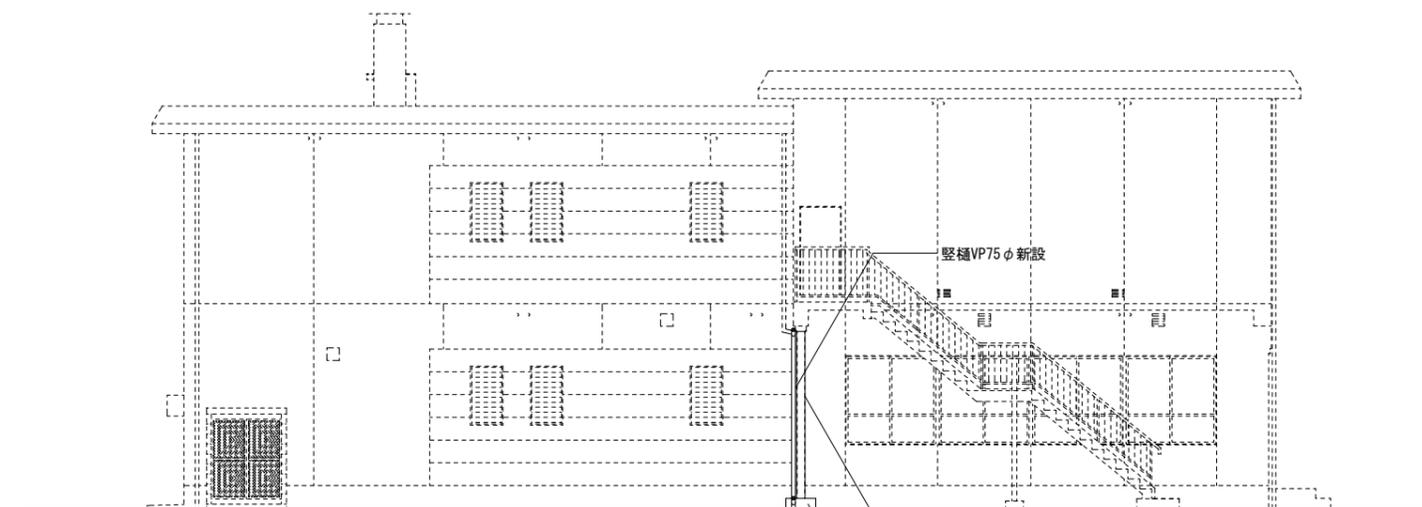
縦樋VP75φ撤去

改修前 北側立面図 1/100



縦樋VP75φ撤去

改修前 東側立面図 1/100

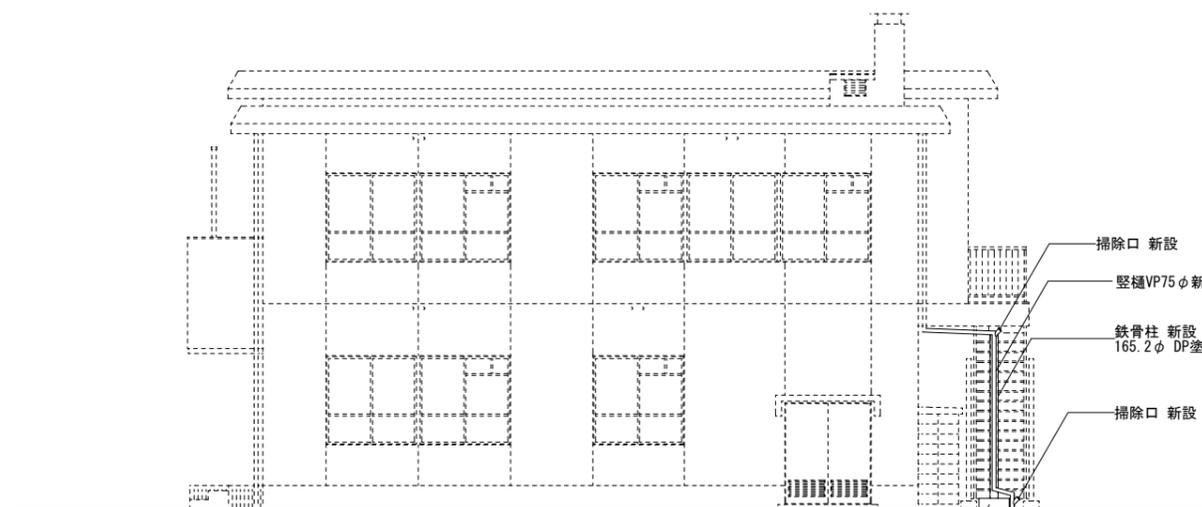


縦樋VP75φ新設

鉄骨柱 新設
165.2φ SOP塗装

コンクリート打放し仕上

改修後 北側立面図 1/100



掃除口 新設

縦樋VP75φ新設

鉄骨柱 新設
165.2φ DP塗装

掃除口 新設

コンクリート打放し仕上

地中排水管VP75 新設

改修後 東側立面図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

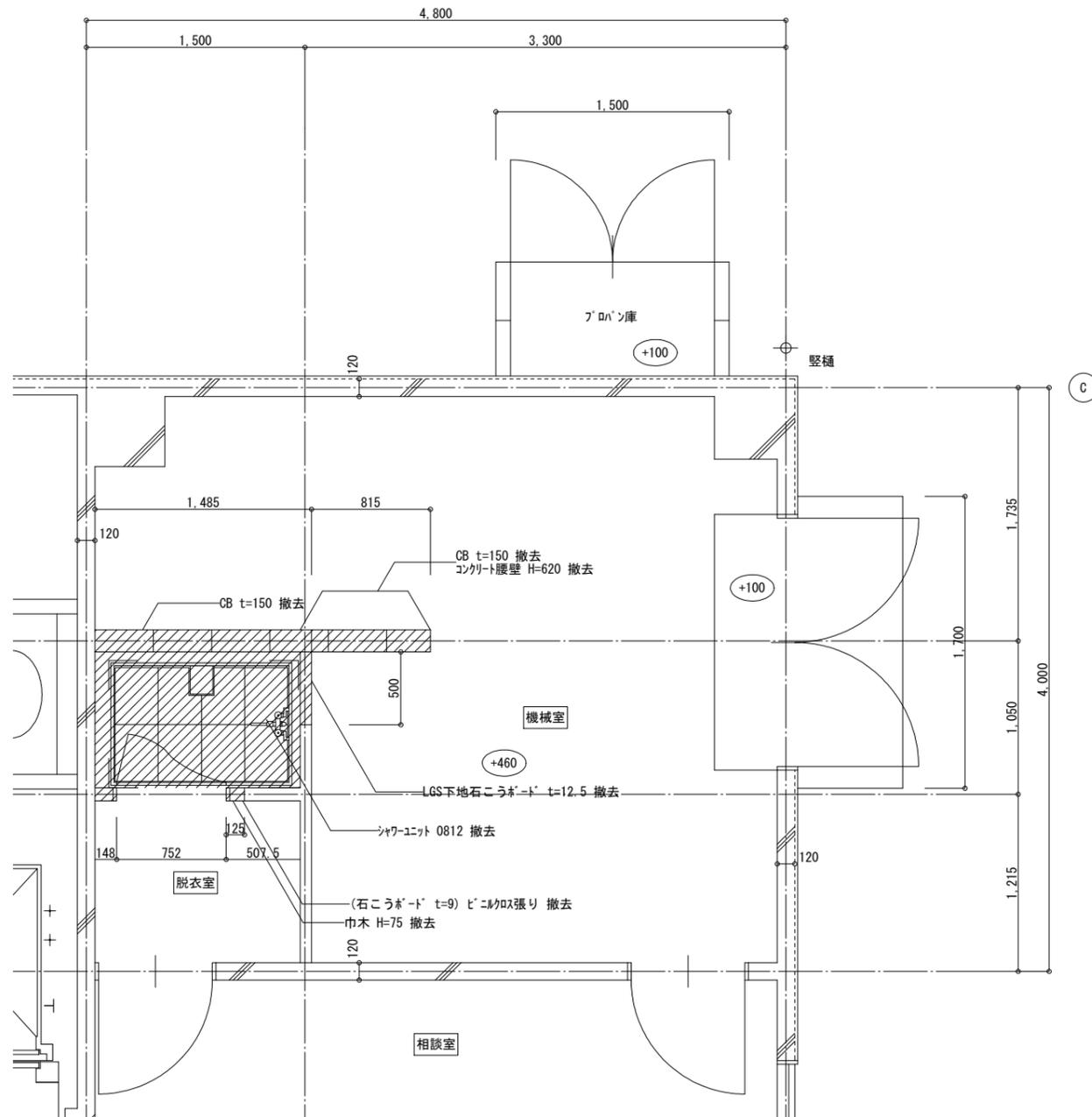
設計年月日
R4 . 6.

工事名
大和人権文化センター改修工事

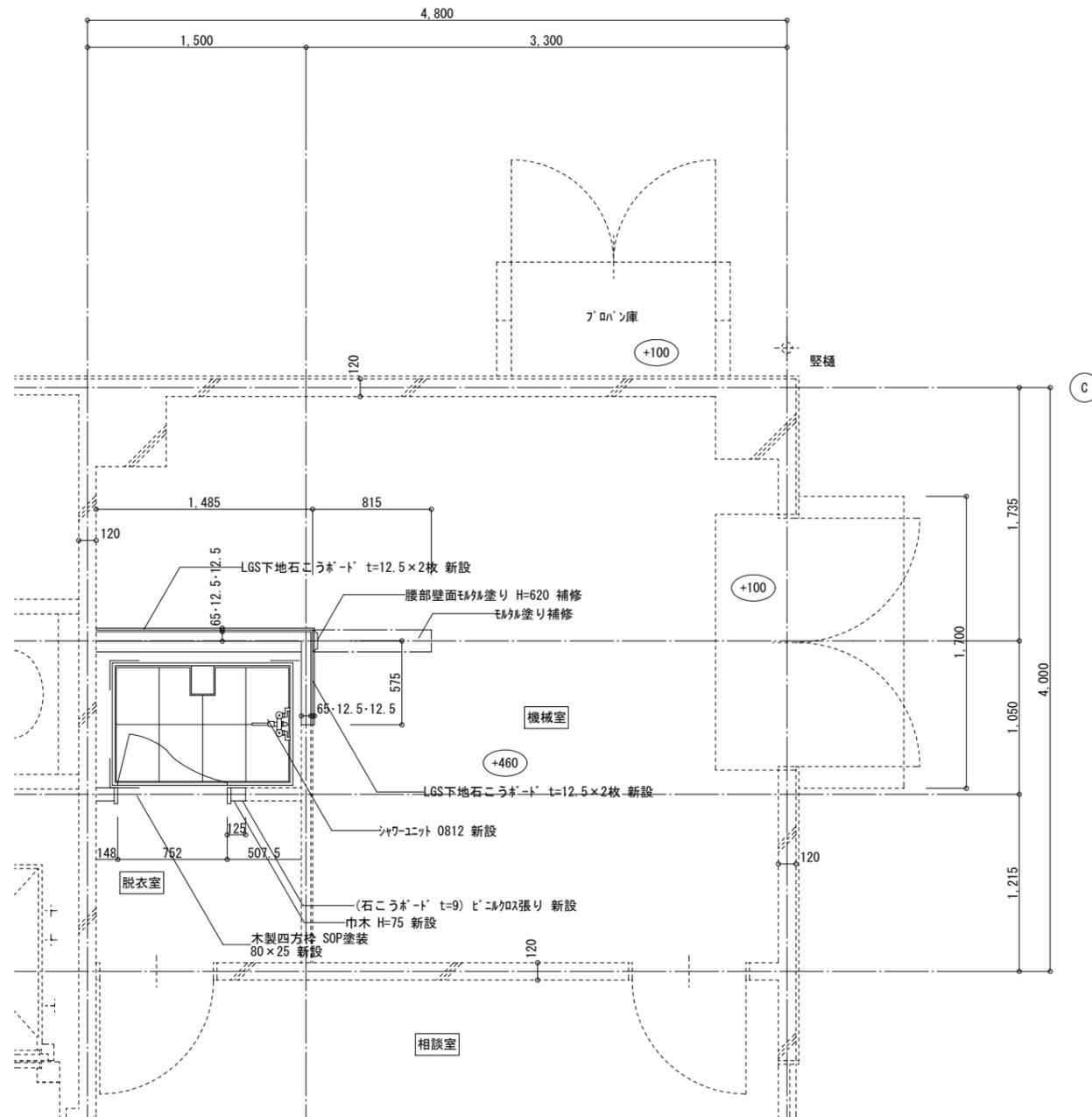
図面名
改修前後立面図 (北面、東面)

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺 1/100

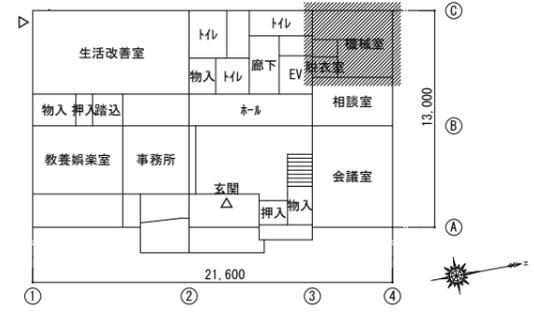
図面No
A-12



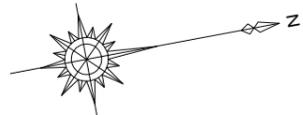
改修前平面詳細図 1/30



改修後平面詳細図 1/30

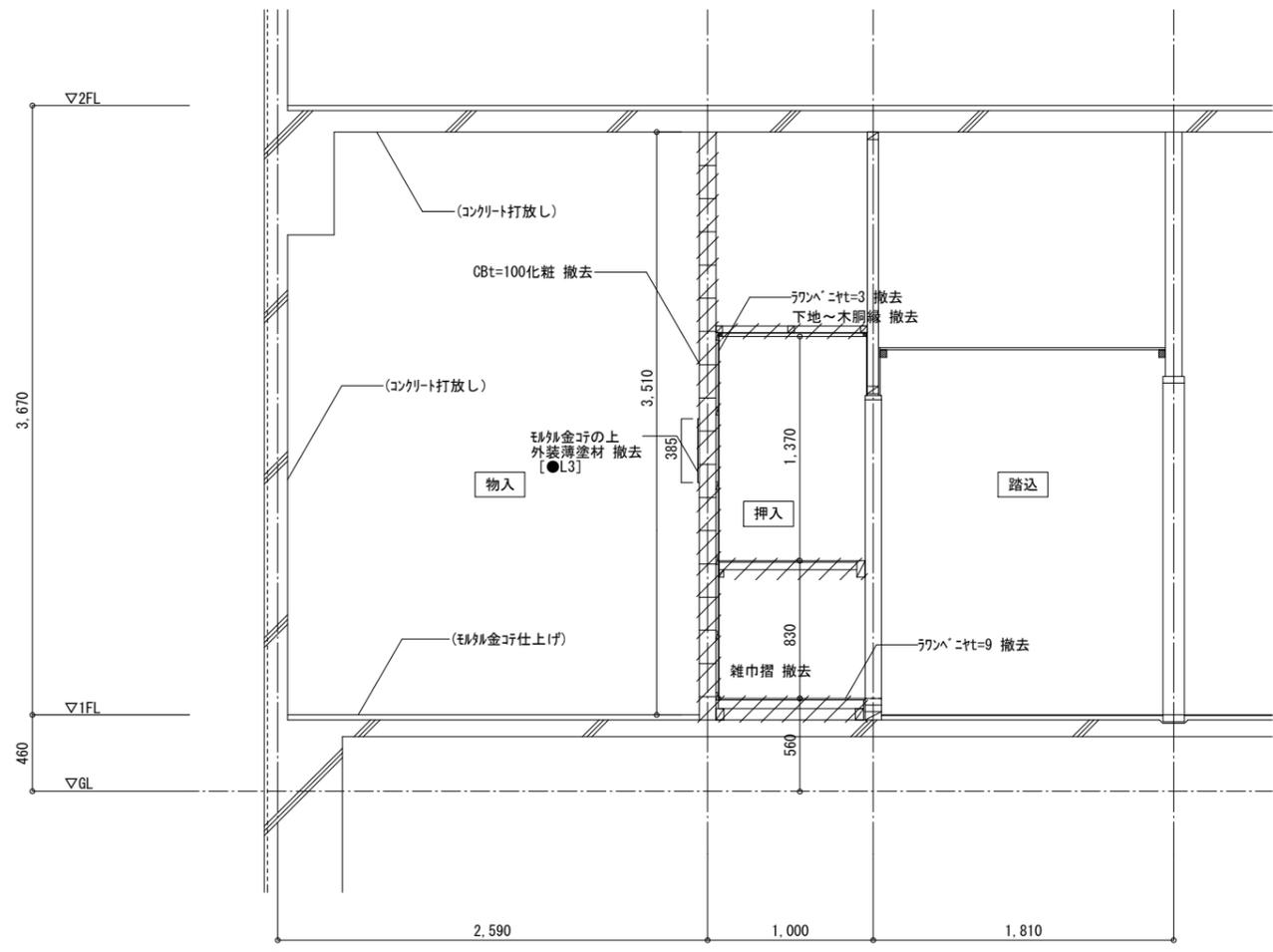


1階キープラン 1/300

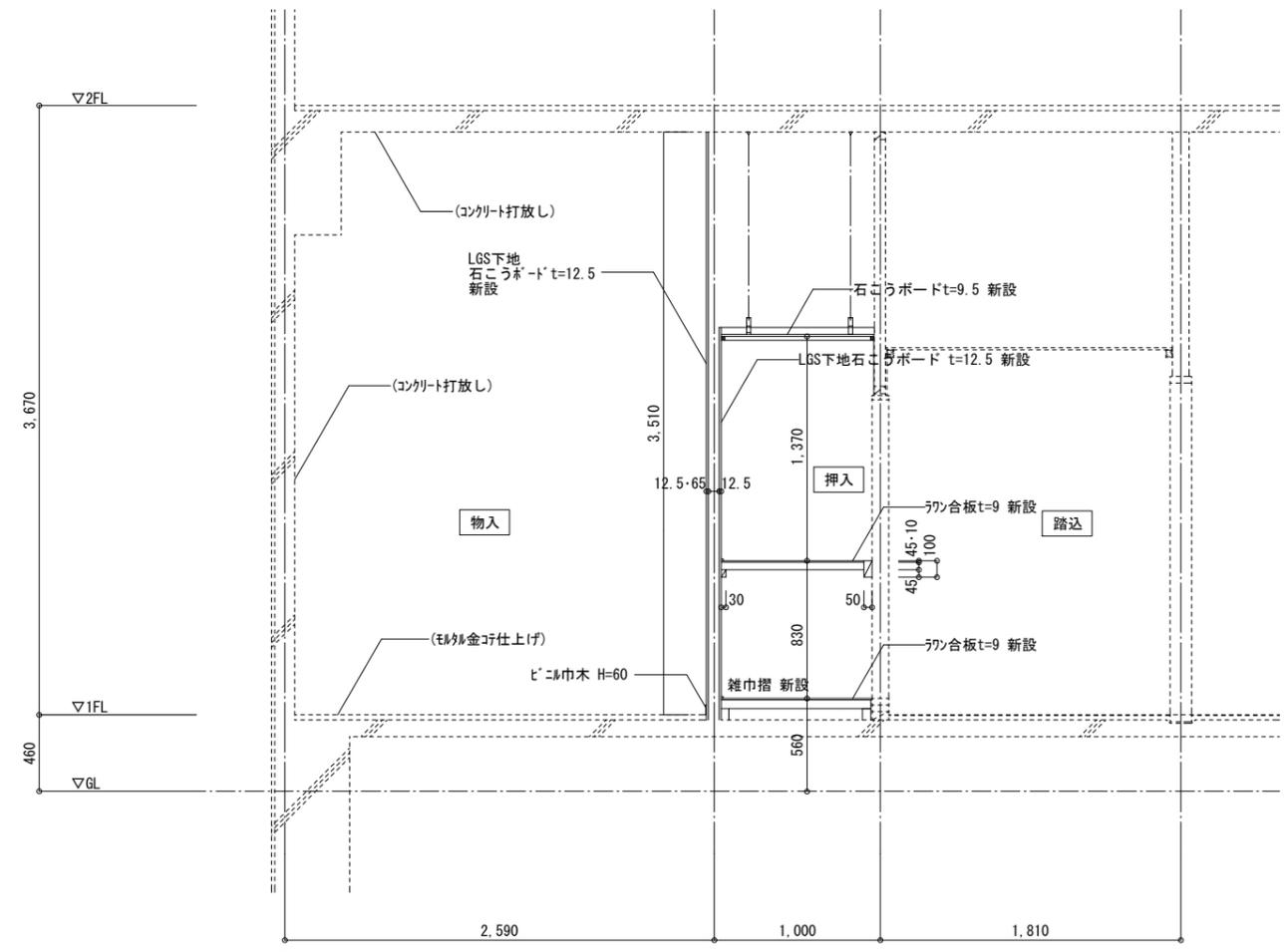


設計に緑を

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				R4 . 6.	大和人権文化センター改修工事	A 3版 71%	
				図面名	縮尺		
				改修前後平面詳細図	1/30		



改修前断面詳細図 1/30



改修後断面詳細図 1/30



設計に緑を

記事	

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

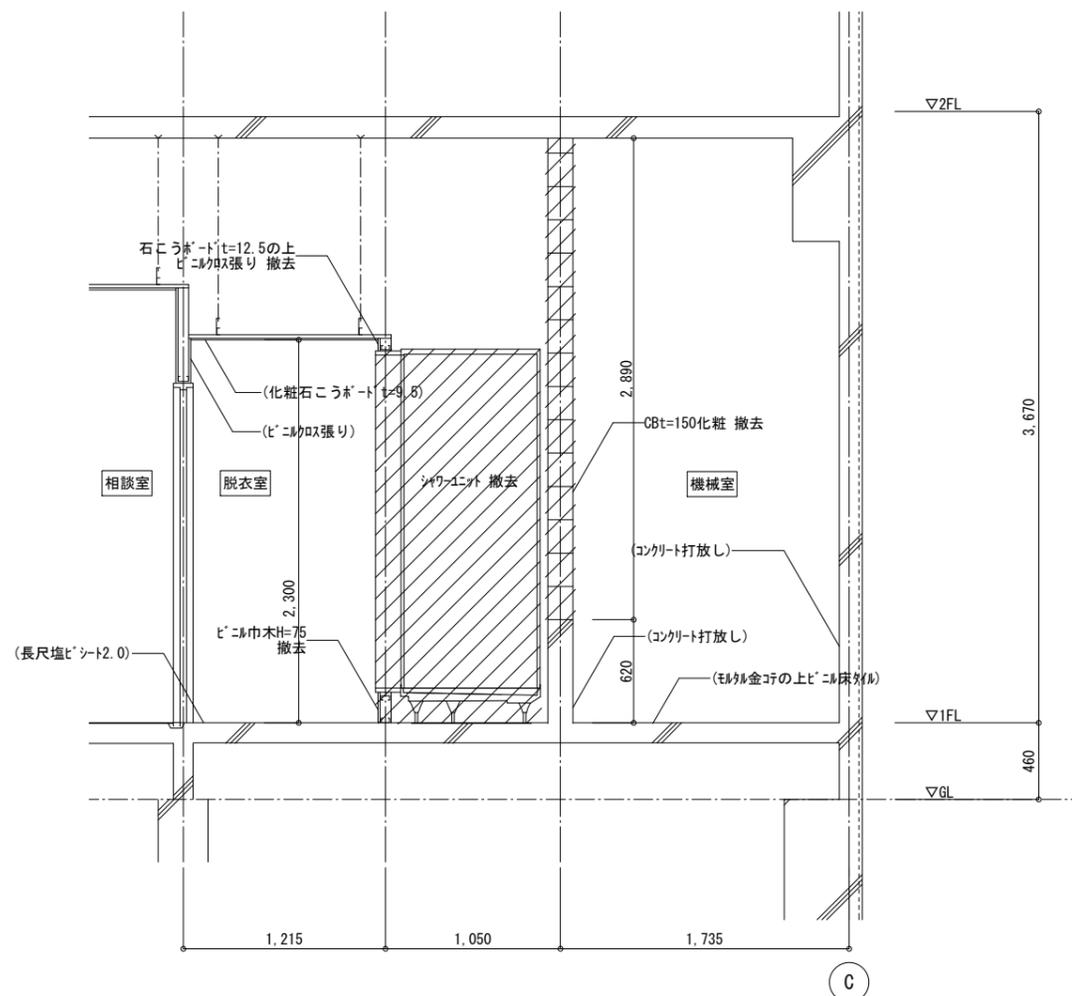
意匠設計者
 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

設計年月日
 R4 . 6.

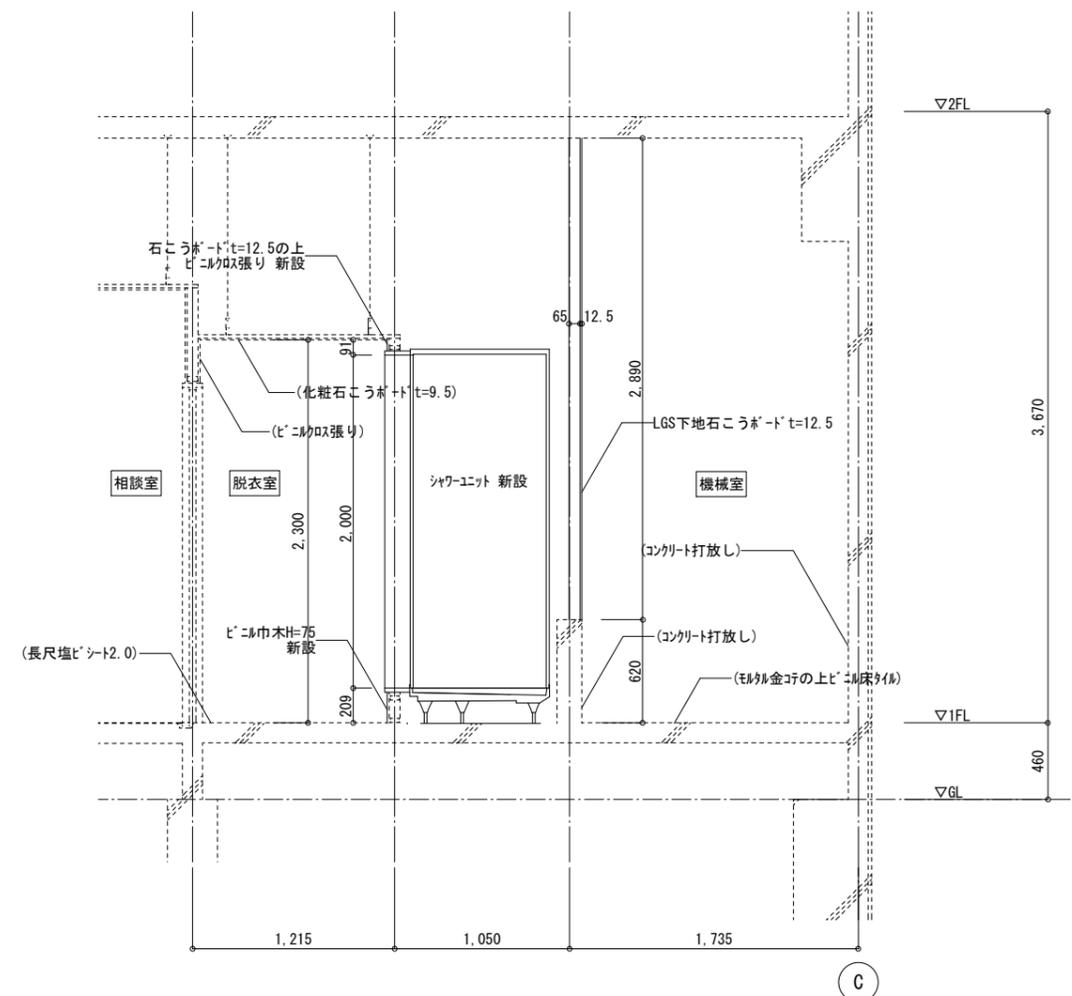
工事名
 大和人権文化センター改修工事
 図面名
 改修前後断面詳細図-1

A 2版 100%
 A 3版 71%
 縮尺 1/30

図面No
 A-14



改修前断面詳細図 1/30



改修後断面詳細図 1/30



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

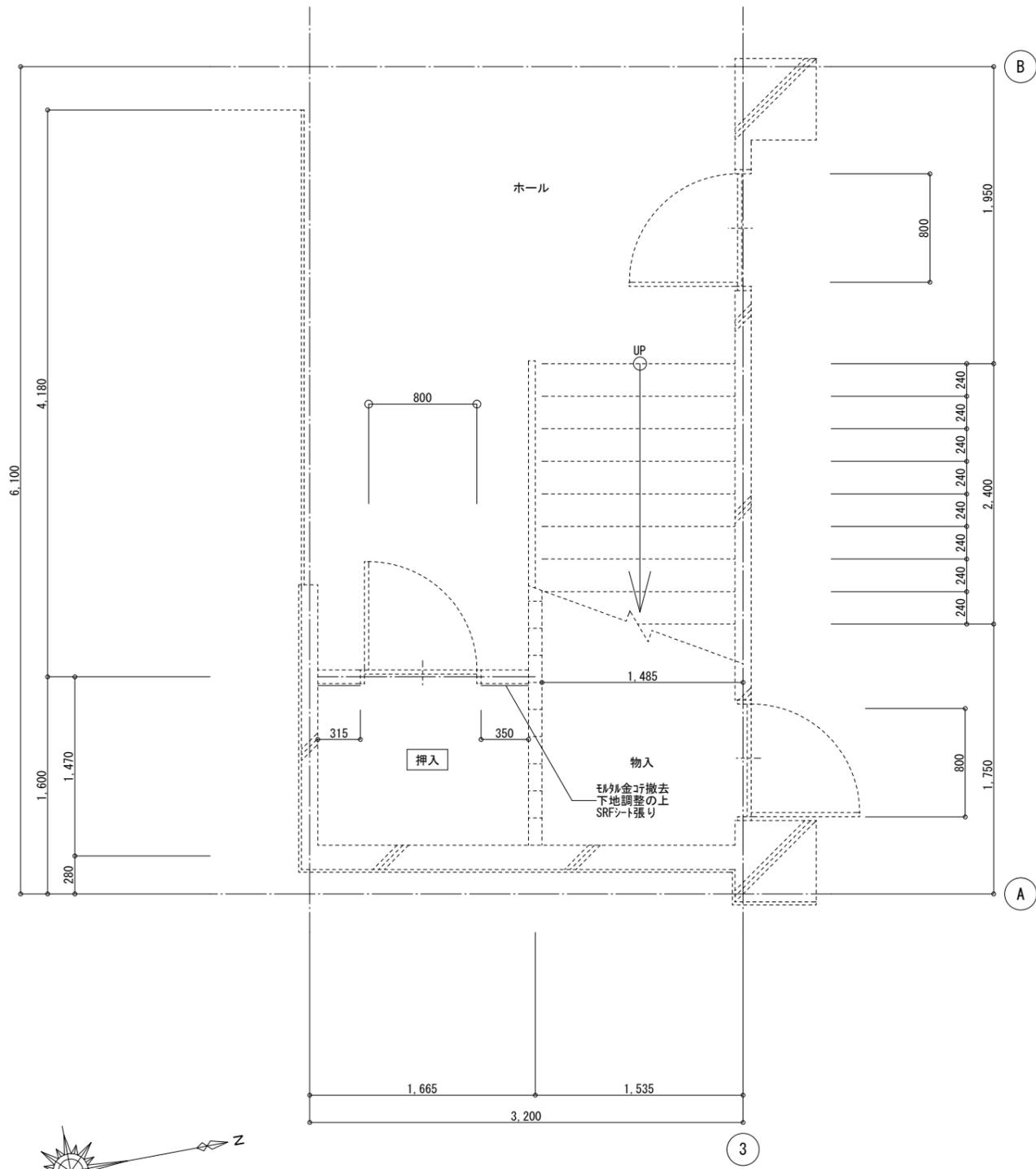
設計年月日
R4 . 6.

工事名
大和人権文化センター改修工事

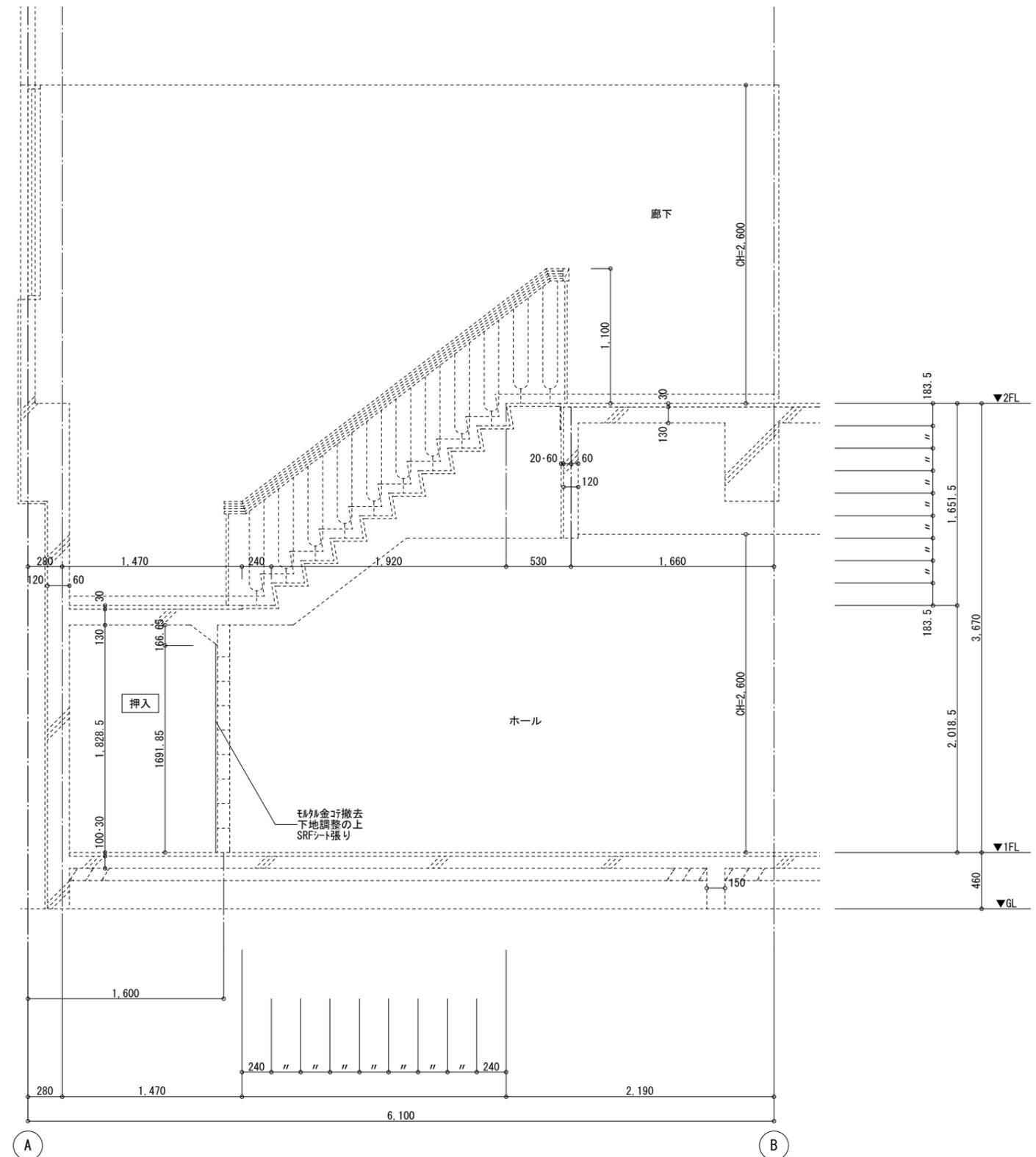
図面名
改修前後断面詳細図-2

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺 1/30

図面No
A-15



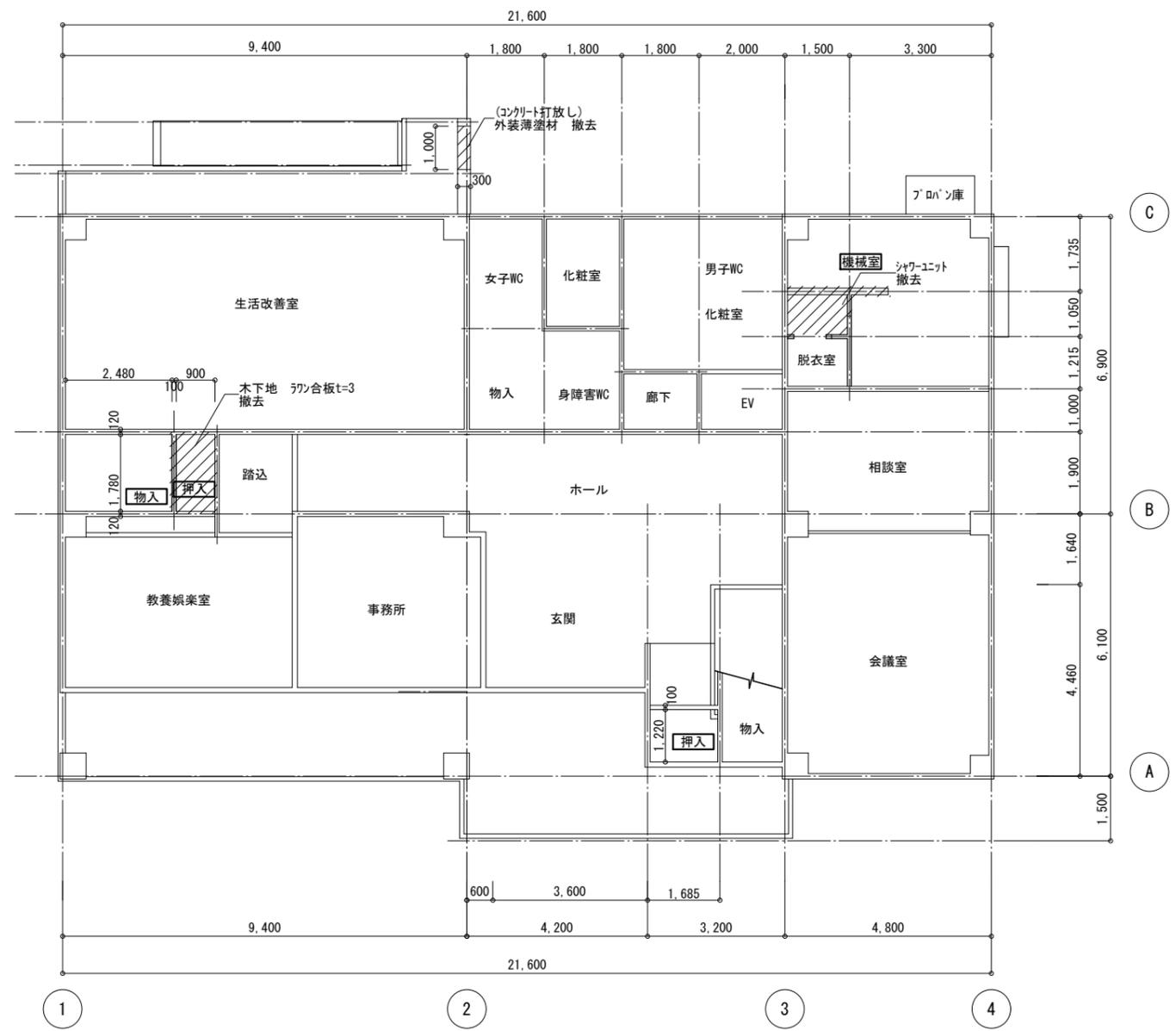
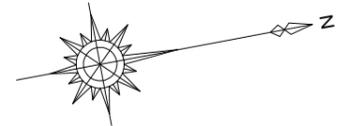
改修後 平面詳細図(階段) 1/30



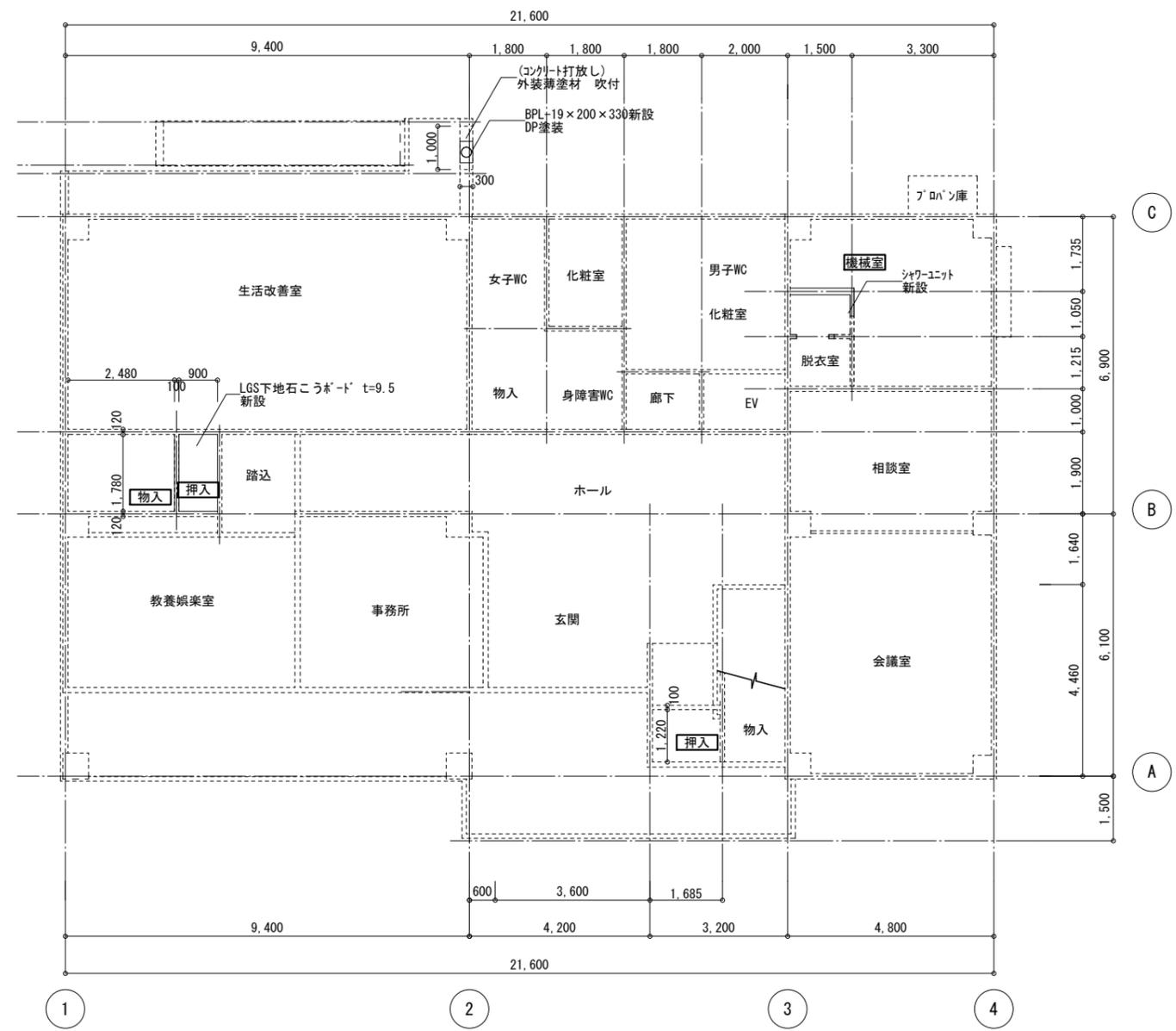
改修後 断面詳細図(階段) 1/30

設計に緑を

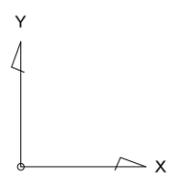
記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				R4 . 6.	大和人権文化センター改修工事	A 3版 71%	
					改修後 階段詳細図	縮尺 1/30	



改修前1階天井伏図 1/100

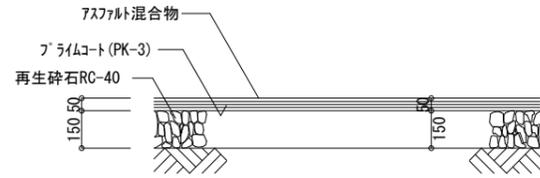


改修後1階天井伏図 1/100



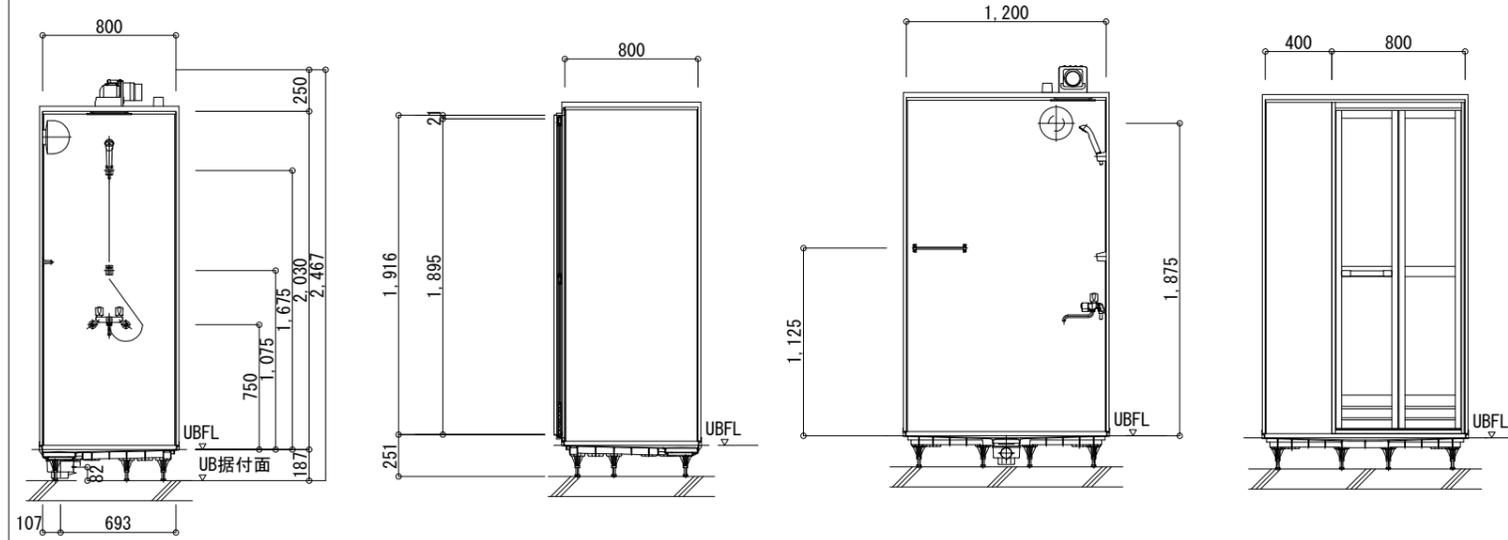
設計に緑を

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				R4 . 6.	大和人権文化センター改修工事	A 3版 71%	
					図面名	縮尺	
					改修前後1階天井伏図	1/100	

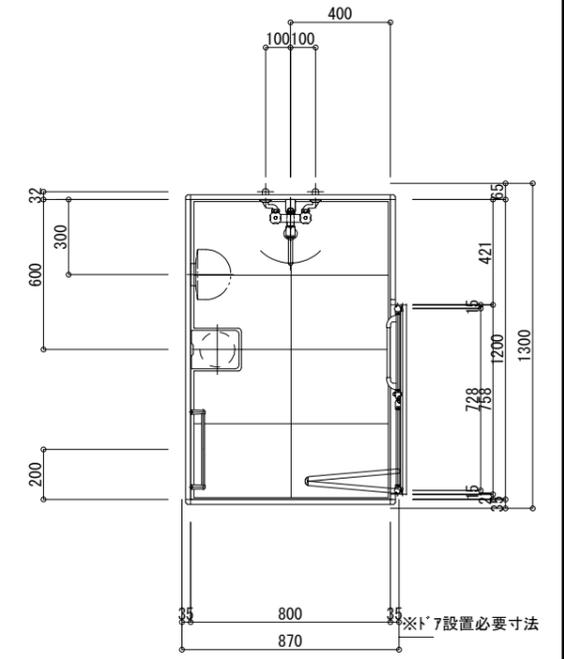


アスファルト詳細図 1/20

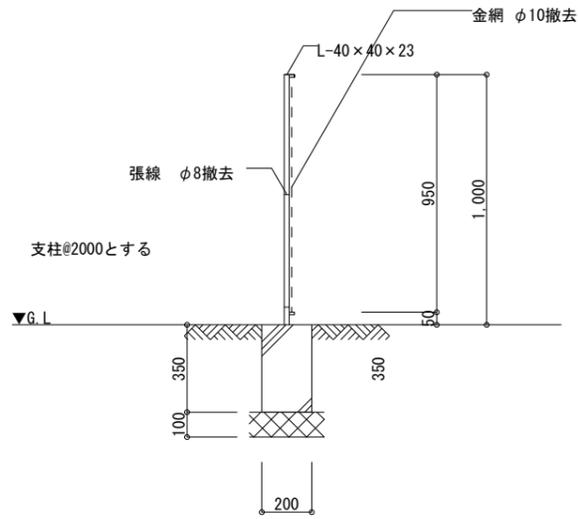
1. シャワーユニットの仕様は下記のものとする。
 TOTO: JSV0812UL 同等品



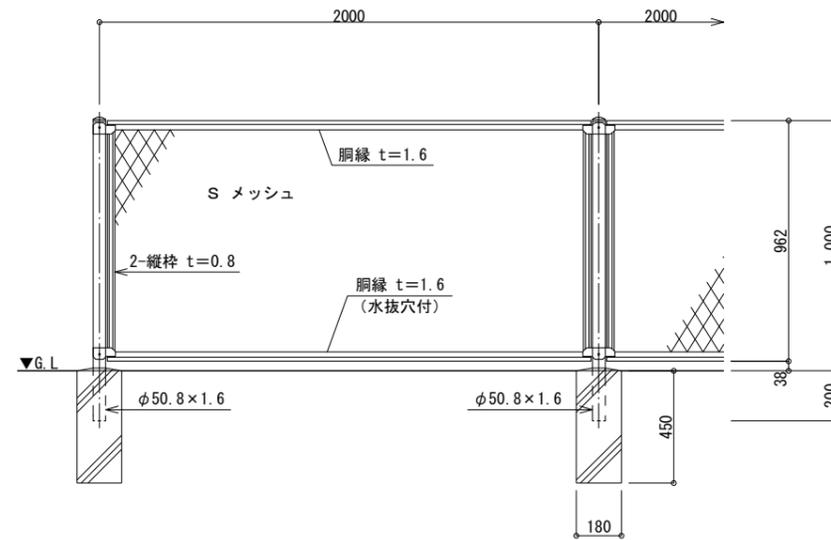
シャワーユニット断面図 1/30



シャワーユニット平面図 1/20

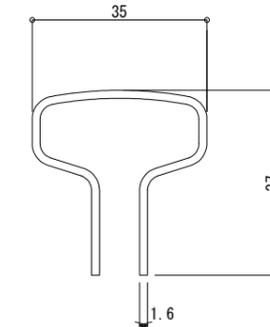


改修前

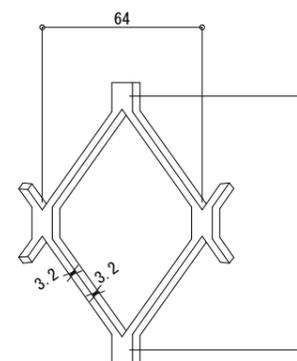


改修後

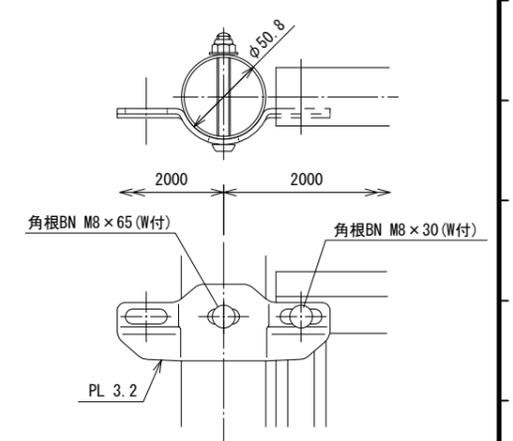
胴縁断面図 S=1:1



Sメッシュ 芯径を示す S=1:2



パネル取付図 S=1:3



ネットフェンス詳細図 1/20

図面縮小率 A2版 100%
 図面縮小率 A3版 71%



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

意匠設計者
 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁

設計年月日
 R4 . 6.

工事名
 大和人権文化センター改修工事

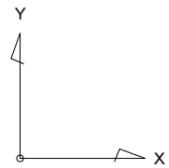
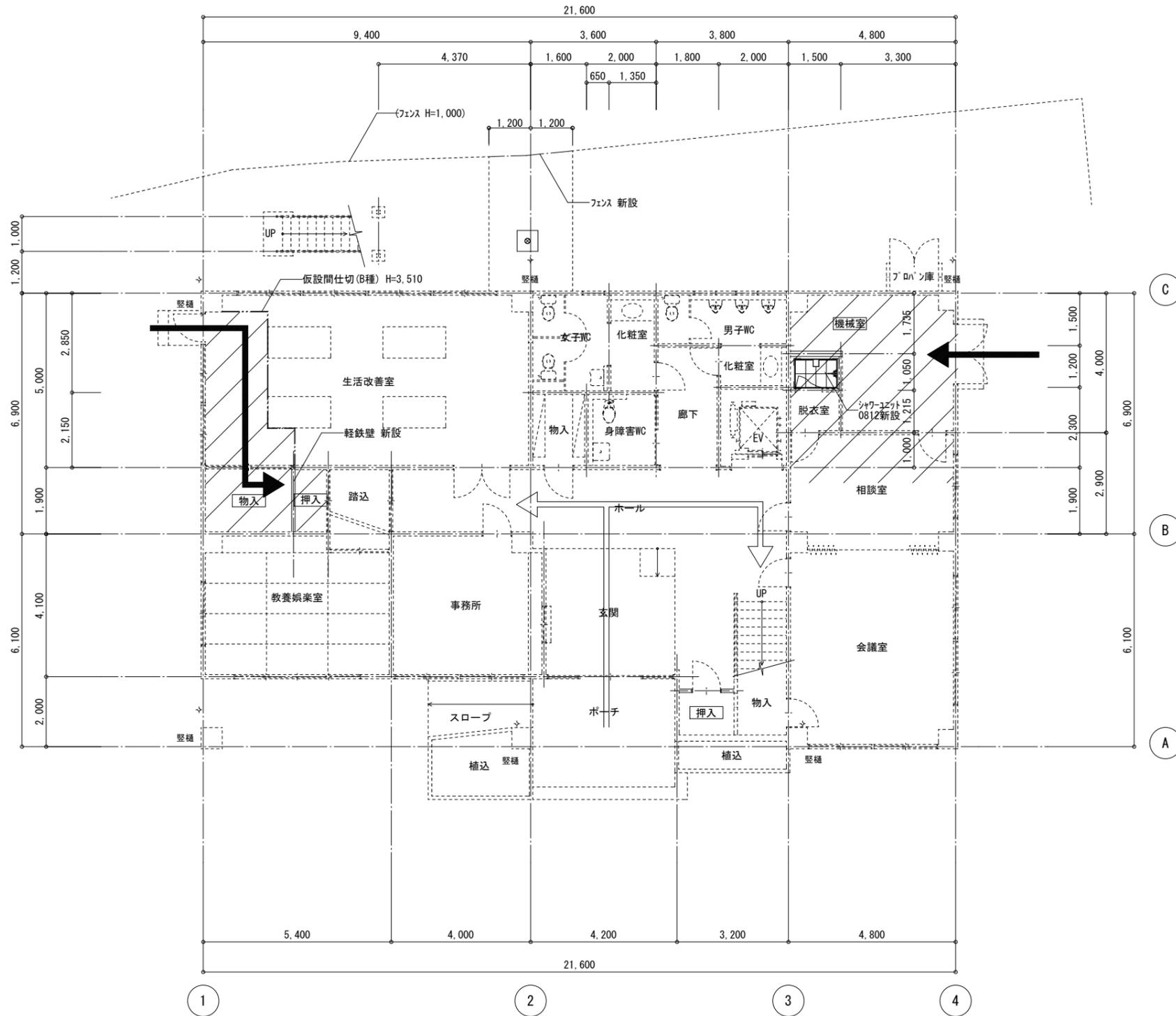
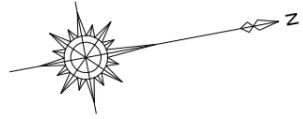
図面名
 部分詳細図

A 2版 100%
 A 3版 71%

縮尺
 1/20・1/30

図面No

A-18



- 凡例
- 工事関係者動線
 - 施設利用者動線
 - 仮囲い (成形鋼板H3.0m)

仮設計画図 1/100

設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	意匠設計者 1級建築士 登録 第305905号 高垣 真仁	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No
				R4 . 6.	大和人権文化センター改修工事	A 3版 71%	
					図面名	縮尺	
					仮設計画図	1/100	

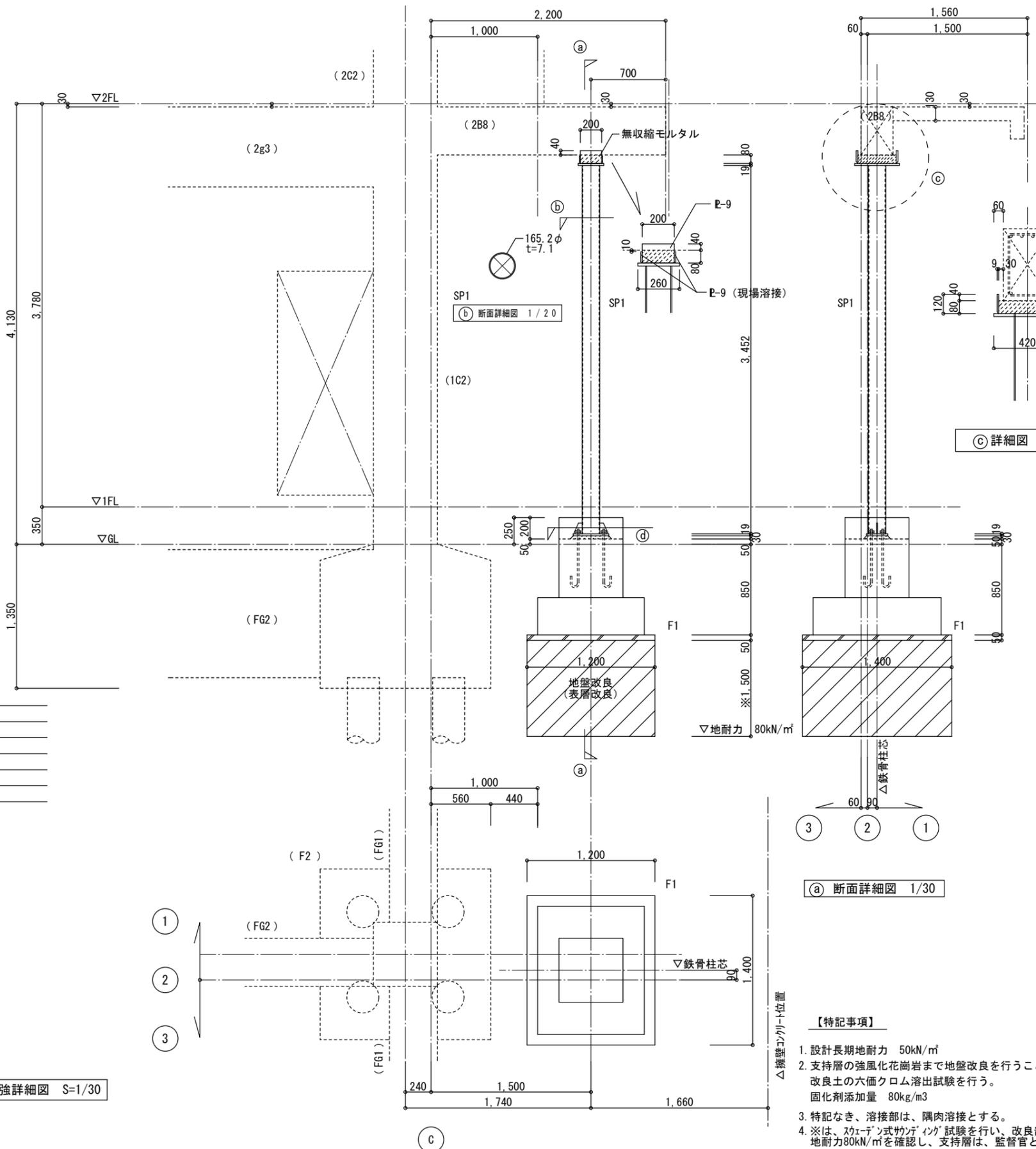
既存片持ち梁リスト 1/40

符号	2B8
位置	全断面
断面	
寸法 (B×D)	300 × 450
上端筋	4-D16
下端筋	2-D16
あばら筋	□-9φ@200
腹筋	
備考	

改修 使用材料

鋼材 (形鋼・鋼板)	SS400
鉄筋	SD295
コンクリート	Fc=24N/mm ² (基礎部)
アンカーボルト	SS400 (M16)
無収縮モルタル	Fm=30N/mm ²

片持ち梁補強詳細図 S=1/30



隅肉溶接の優先標準 (単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフェールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 16	t ≤ 16
16 < t ≤ 40	16 < t ≤ 40

隅肉溶接のサイズ (単位: mm)

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

③ 詳細図 1/20

④ 断面詳細図 1/20

① 断面詳細図 1/30

F1 基礎リスト S=1/30

- 【特記事項】
- 設計長期地耐力 50kN/m²
 - 支持層の強風化花崗岩まで地盤改良を行うこと。改良土の六個クラム溶出試験を行う。固化剤添加量 80kg/m³
 - 特記なき、溶接部は、隅肉溶接とする。
 - ※は、スウェーデン式サウンディング試験を行い、改良部下端地耐力80kN/m²を確認し、支持層は、監督官と協議する。

SRF工法特記仕様書（崩落防止）

I. 一般事項

1. 適用範囲
 ・本特記仕様書は、SRF工事に適応する。
2. 適応基準等
 ・図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、下記基準類による。
 ① 設計図書
 ② 2015年版 SRF工法設計施工指針と解説
 ③ SRF工法設計・施工指針 同解説（一財）日本建築防災協会技術評価版
 ④ SRF工法品質管理マニュアル
 ⑤ 建築改修工事監理指針
 ⑥ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
3. 工事施工者
 SRFは登録商標であり、その方法、構造、材料は特許第3484156号であるため、工事施工者は「構造品質保証研究所」と実施許諾契約を結ぶこと。
4. 品質管理
 ①各工程ごとにチェックシートを用いて品質管理を適切に行う。
 ②気温が0℃以上で施工可能とする。
 ③残材は、産業廃棄物として処理する。

II. SRF工法（崩落防止）

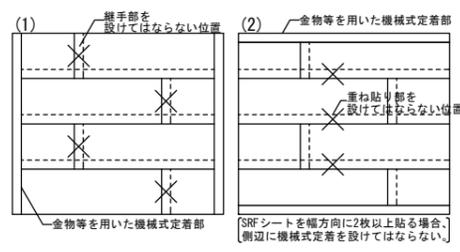
1. 使用材料

種別	品名	材質	厚さ	幅	適用
SRF (ベルト材)	SRF250、SRF2100	ポリエステル	2.5 mm	50、100 mm	
	SRF365、SRF3100	ポリエステル	3.0 mm	65、100 mm	
	SRF465、SRF4100	ポリエステル	4.0 mm	65、100 mm	
	SRF565、SRF5100	ポリエステル	5.0 mm	65、100 mm	
SRF (シート材)	SRF T-F	ポリエステル	0.5 mm	1000 mm	○
	SRF 200	ポリエステル	1.1 mm	900 mm	
接着剤	SRF200W100	ポリエステル	1.1 mm	100 mm	
	SRF20	ウレタン系	—	—	
	SRF30	ウレタン系	—	—	
	SRF40	ウレタン系	—	—	○

2. 補強対象面の確認
 ①対象部材は、健全なものとする。欠損やジャンカ等は、脆弱部や不良部分を切り落とし、鉄筋の錆を伴う場合は除去して防錆処理を行い、断面修復材（ポリマーセメントモルタル、エポキシ樹脂モルタル等）で成形補修する。
 ②工事着手前の状態で、明らかに不良と判断される部材については、設計者または監督員の指示に従うものとする。
3. 障害物の撤去
 ①施工する際に障害となるものは撤去、または仮移設する。
 ②対象面の仕上のクロス、ボード及び下地は撤去する。
4. 対象面の確認
 ①対象面の下地は躯体面、モルタル面、塗装仕上げ面とし、健全性の確認を行う。目視、触診、打音検査を行ない、対象面に著しい劣化や浮きがないか確認する。
 ②対象面の凹凸を計測する。
 ③施工する際に障害物となるものがあるか確認する。
 ④下地は、SRF20使用時、 $0.7N/mm^2$ ($0.77N/mm^2$) のせん断強度を躯体に伝達できるものとする。必要に応じて、接着試験を実施する。
 接着試験 ・行う（試験箇所 *図示） ○行わない
 <接着試験方法>
 試験片に接着剤を塗布し、対象面に接着させる。対象面と平行にプッシュプルスケールを介して引張力を作用させ、剥離時の張力、破壊状況を確認する。詳細は、適用基準②資料3.2及び③解説資料3.1-2を参照とする。
 *1) …SRF30使用時は、 $1.05N/mm^2$ ($1.15N/mm^2$)
 …SRF40使用時は、 $1.40N/mm^2$ ($1.54N/mm^2$)
 ただし、土木構造物の場合は、①内の数値を用いる。
5. 対象面の補修
 ①対象面に土、油、埃等の汚れが付着している場合は接着剤の下地面への塗布に支障をきたし接着剤の強度発現に大きく影響する場合は、十分に乾燥させてから補修を行う。
 ②対象面の補修は原則として行わなくてよい。ただし、定着部及び定着部を設けない一般部については、壁と同様に補修等を行うこととする。
6. SRFの準備
 ①SRF（ベルト材、シート材等）を所要の長さに切断し、必要数準備する。

7. 接着剤塗付

- ①接着剤塗付
 対象面に、接着剤を塗布する。塗布量の目安は $0.8kg/m^2$ 以上とし、クシ目ゴテで厚さ $0.5mm$ 厚均一に塗布する。ただし、設計図書に記載のある場合には、これに従って、接着剤を塗布しない部分を設けてもよいこととする。接着剤の1回の塗布範囲は、接着材の可使用時間 *2内に補強材の貼り付けが完了する範囲
- *2…缶から接着剤を取り出し、作業で使用できる状態を維持できる時間。接着剤使用時の温度や湿度により変化する。
- ②SRF貼り付け
 接着剤塗付後、SRFを貼り付ける。SRFはしわ・たるみがないようによく伸ばしながら貼り付け、接着剤とSRFが馴染むようによく押える。シート材とシート材の継手部は、必要定着長以上重ねるように貼り付ける。ただし、下図の位置に継手部的に使用する場合は、重ねなくてもよいこととする。



継手部または重ね貼り部を設けてはけない位置

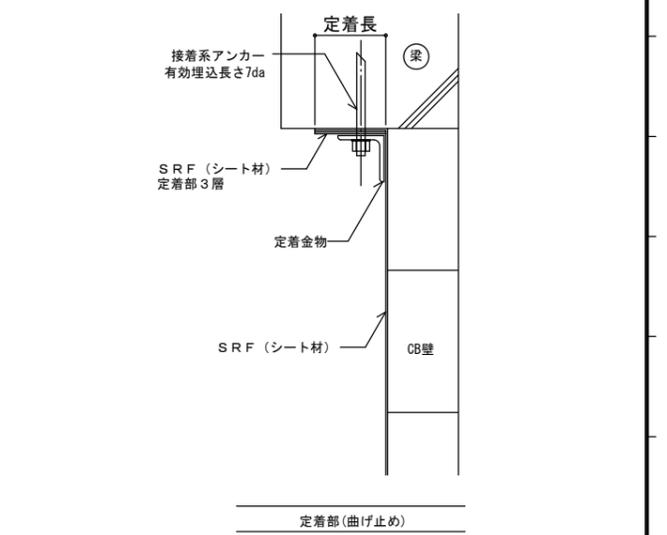
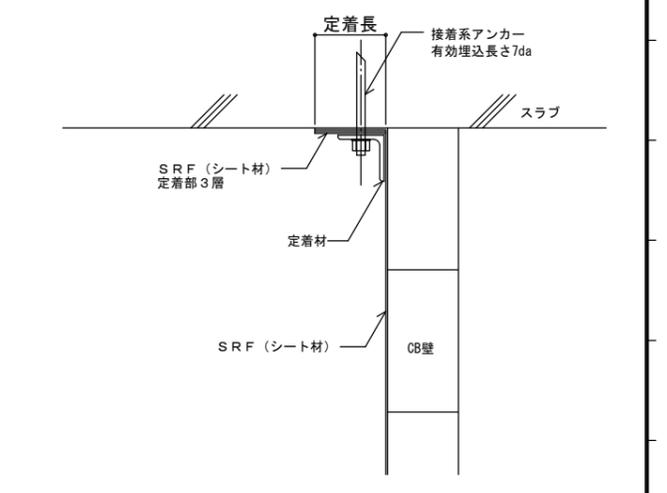
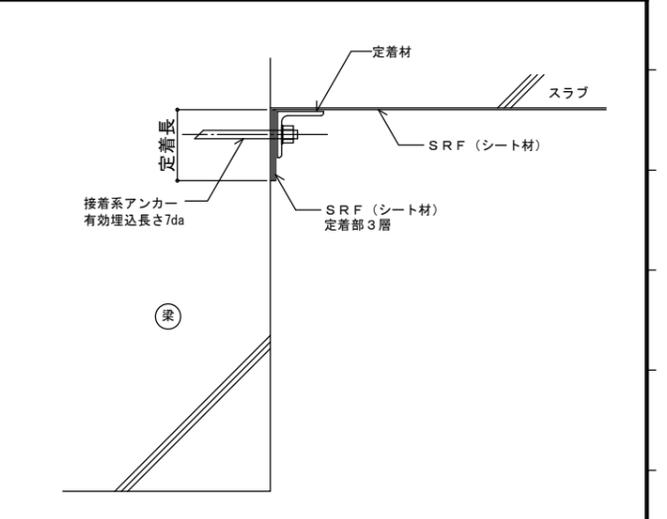
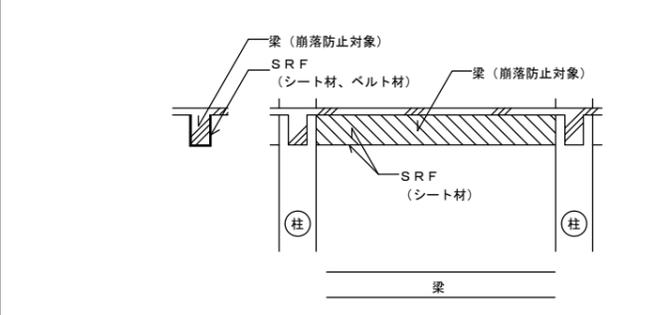
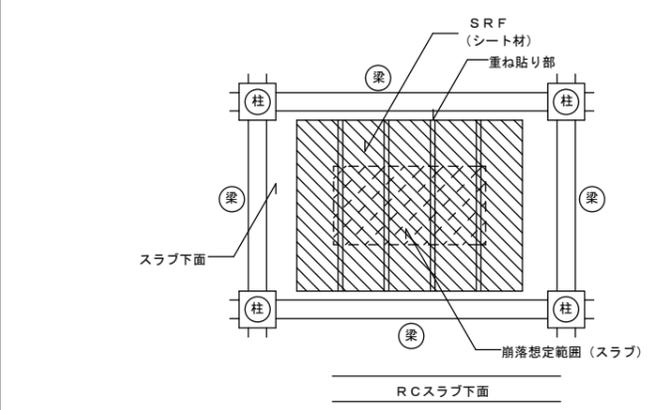
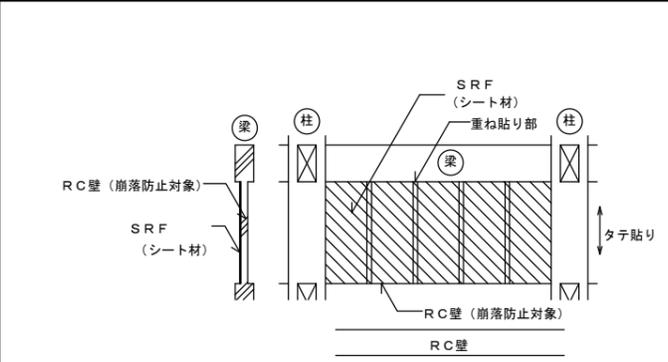
また、2方向のSRFシート（SRF T-F、またはSRF T-1）を用いて崩落防止を行い、崩落想定範囲が部分的で、その周囲に必要な定着以上の健全な定着部が確保できる場合、重ね貼り部を設けなくてもよいこととする。定着部位外の対象面に凹凸、段差がある場合には、これになるべく沿うように貼り付けることとし、必要最低限接着できない場合が生ずることは許容する。

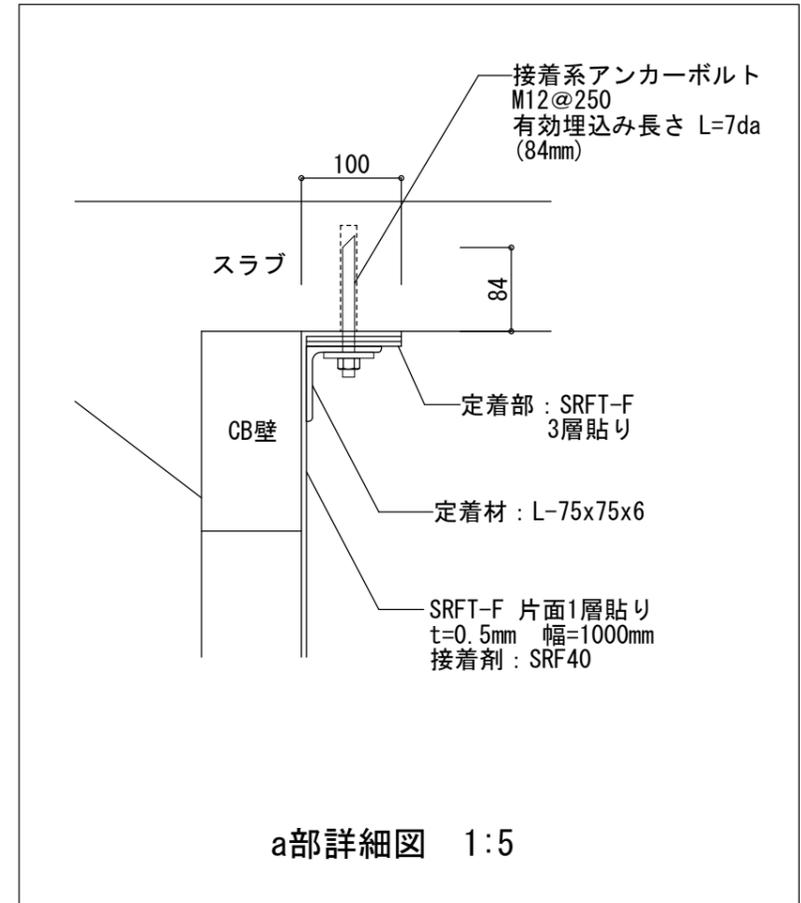
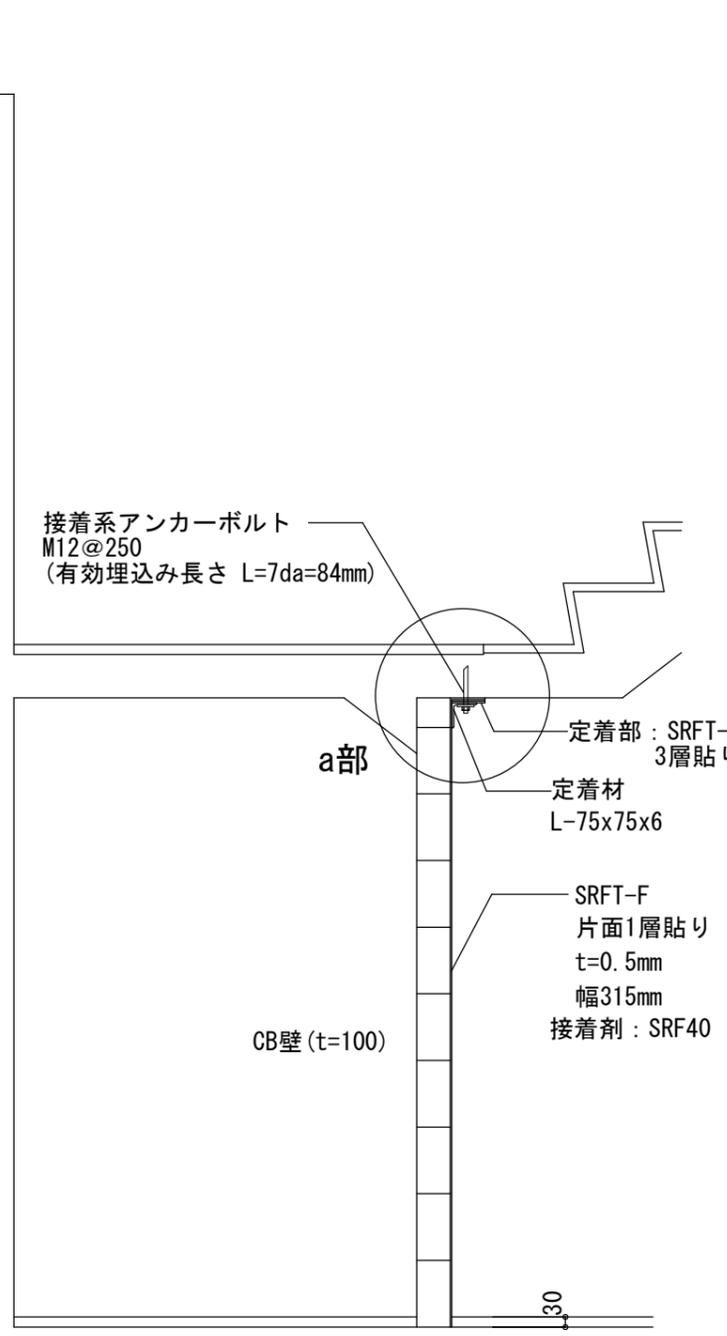
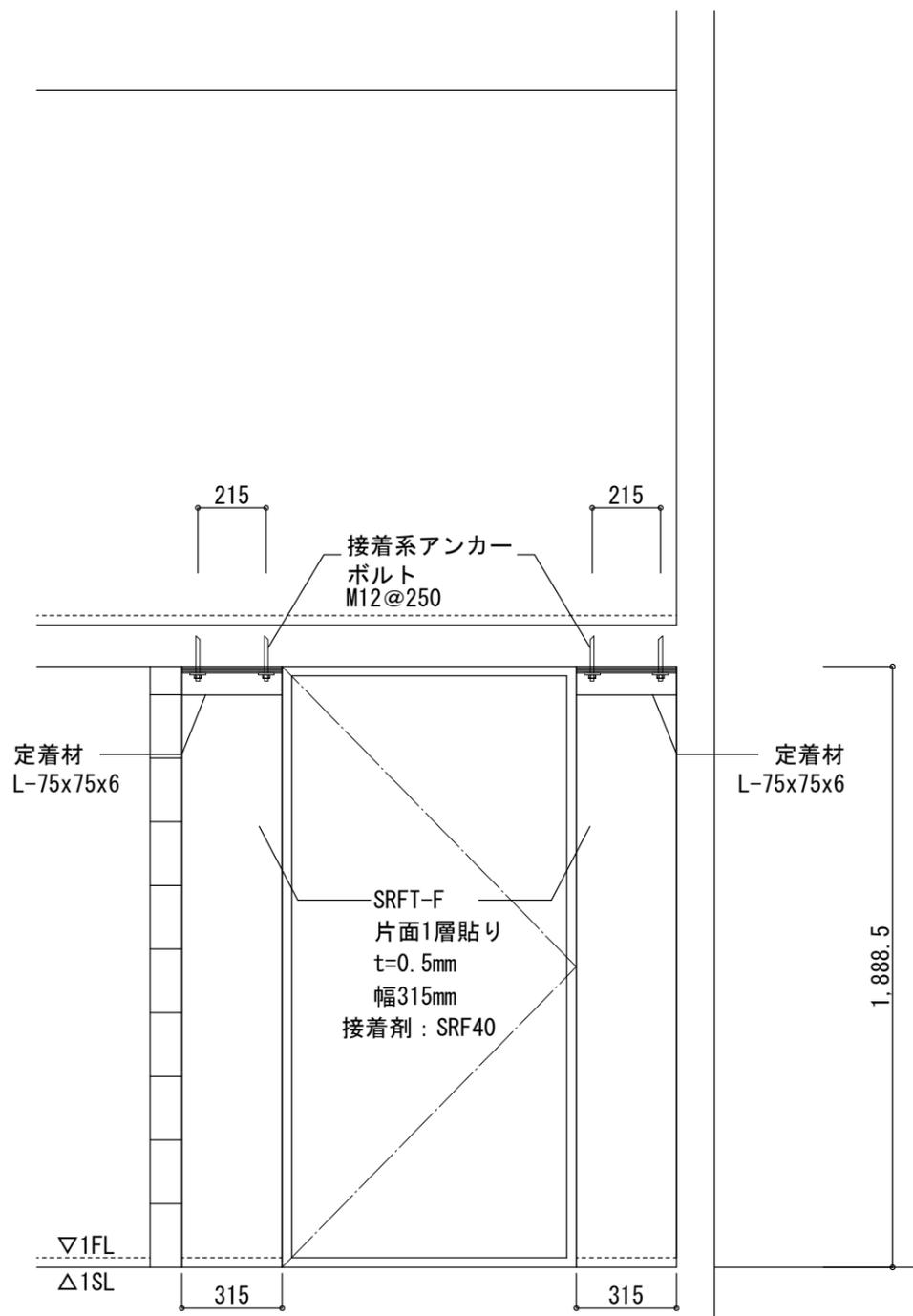
8. 確認作業

- ①接着剤が硬化するまで、SRFの垂れ・浮きがないか適宜確認し、垂れ・浮き等が見られる場合は補強材の上から叩きながら押さえ、対象面に密着させる。

9. 養生

- ①接着剤が硬化するまで、引き剥がし等の荷重が加わらないように注意する。仕上げ材を直接SRFに取付ける場合は、接着剤が硬化してから施工する。



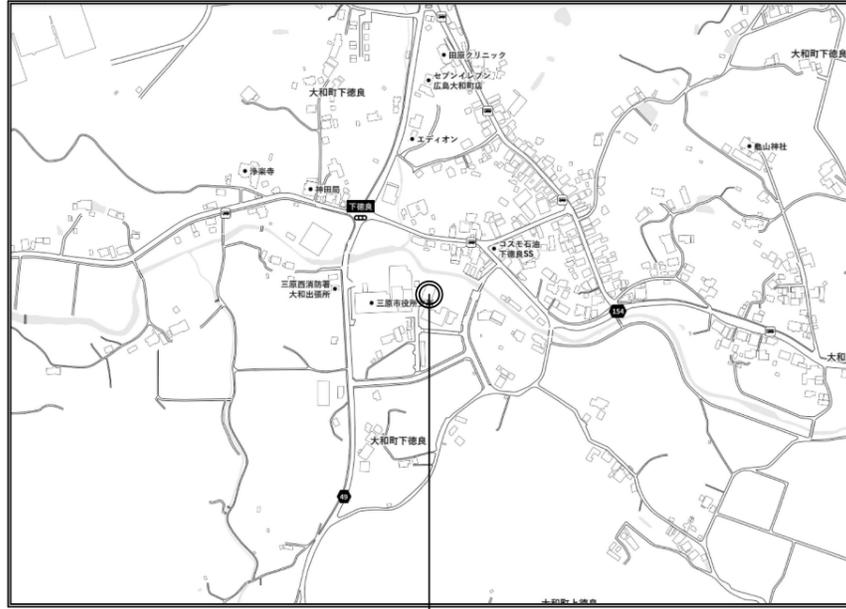


※施工時に現地にて実測を行い確認する事



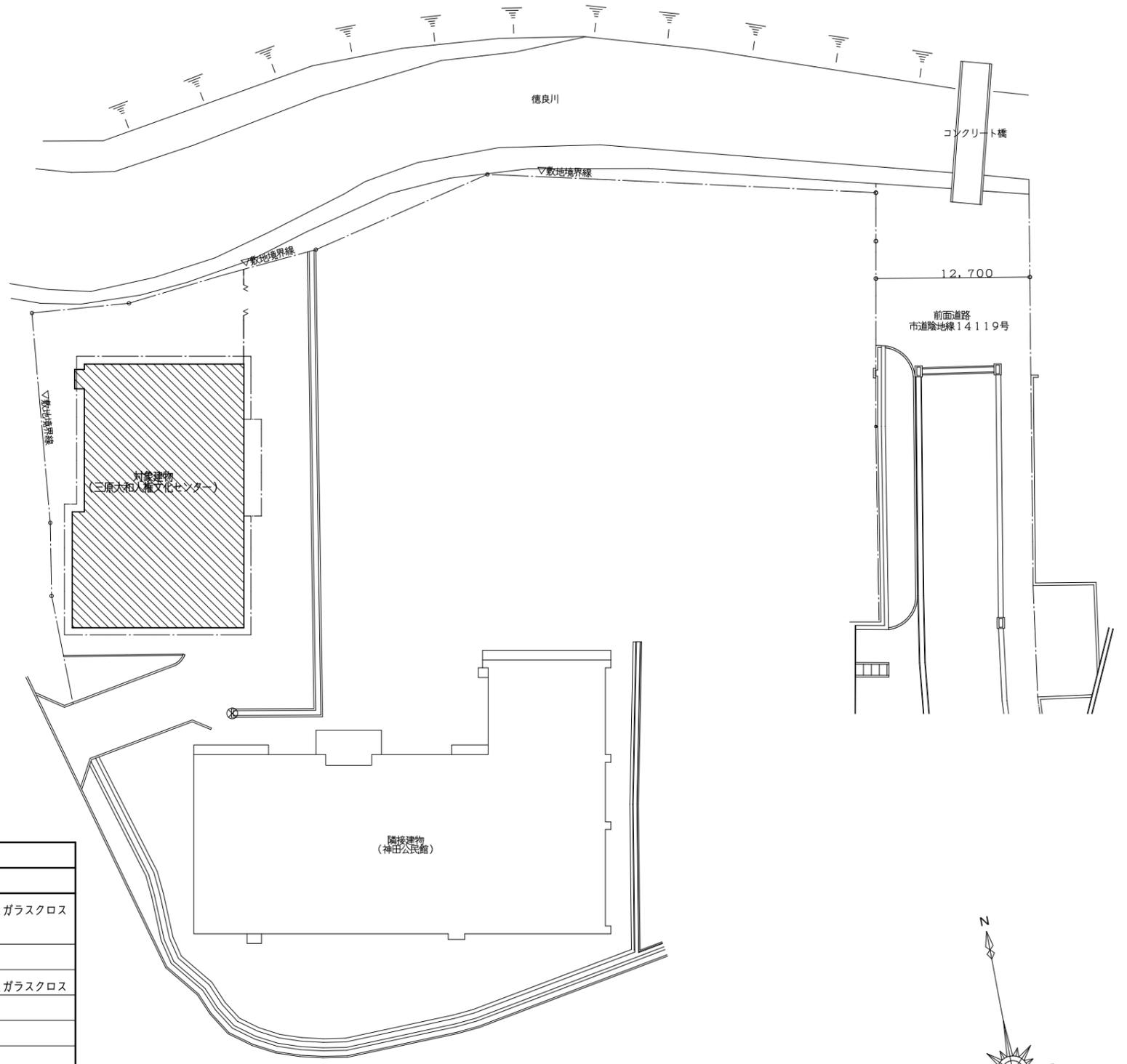
設計に緑を

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No
				R4.6.	大和人権文化センター改修工事	A3版 71%	
					図面名	縮尺	
					CB壁補強詳細図	1/15	



工事場所：広島県三原市大和町下徳良

付近見取図

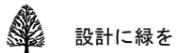


配置図 1/300

凡例
 工事対象範囲

管種凡例				
記号	名称	仕	様	仕上他
— — — —	給水管	屋内一般	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB) JWWA K 116	(屋内露出部) GW+アルミガラスクロス
		土中埋設	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742	
— 去 —	排水管	屋内一般	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) JIS K 6741	
— —	給湯管	屋内一般	銅管 (硬質M型) JIS H 3300	(屋内露出部) GW+アルミガラスクロス
— G —	ガス管	土中埋設	ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)	

注) ・建築設備の耐震対策は、建築設備耐震設計施工指針による。



記事

株式会社 車田建築設計事務所
 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号

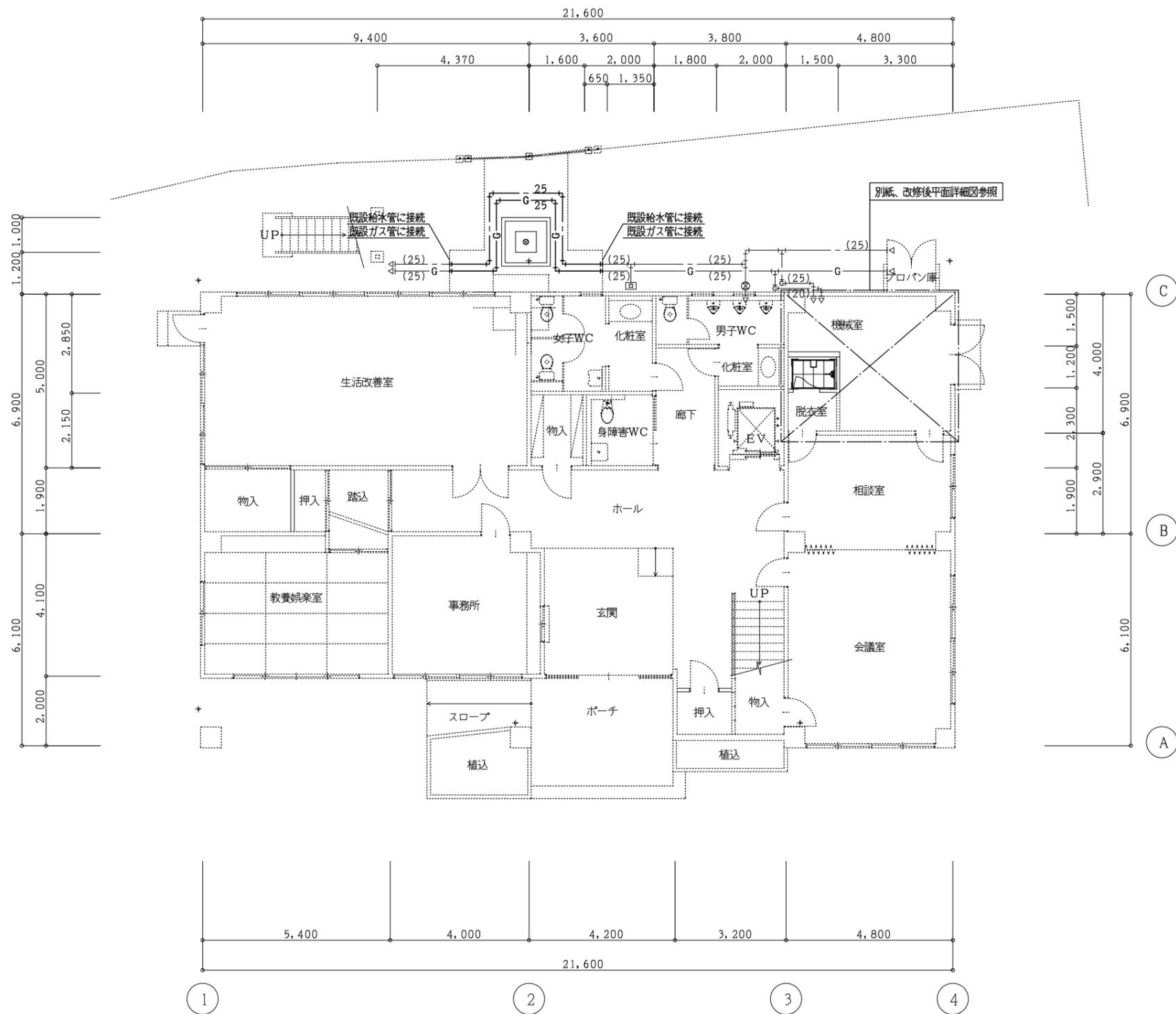
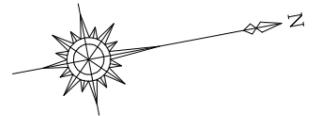
管理建築士
 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
 1級建築士 登録 第248850号
 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

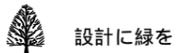
設計年月日
 R4.6.

工事名
 大和人権文化センター改修工事
 図面名
 付近見取図、配置図、凡例

A2版 100%
 A3版 71%
 縮尺
 1/300
 図面No
 M-01

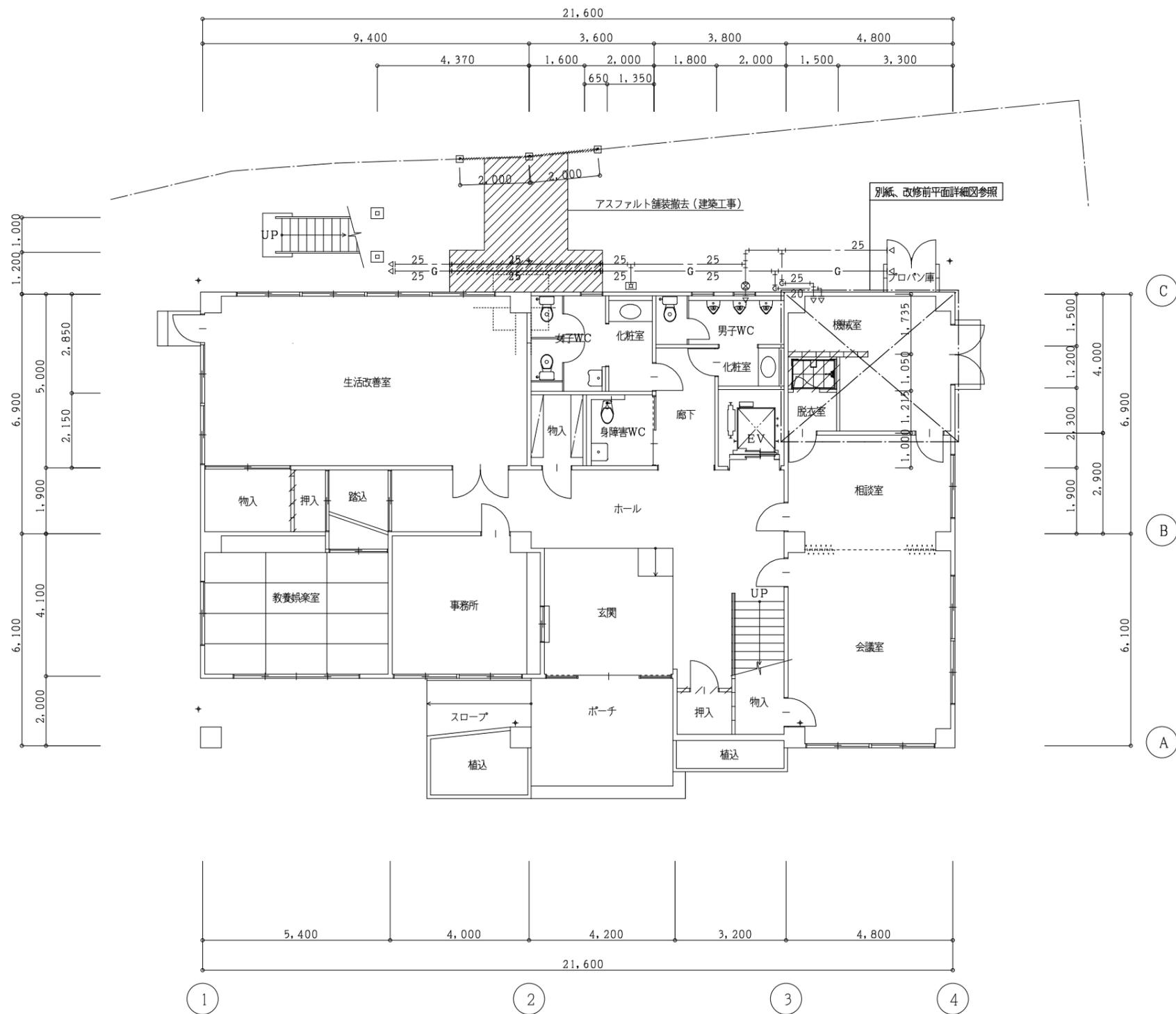
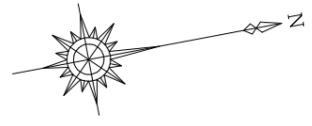


改修後1階平面図 1/100

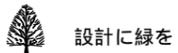


設計に緑を

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No
				R4 . 6 .	大和人権文化センター改修工事	A3版 71%	
				図面名	衛生設備 改修後1階平面図	縮尺	
						1/100	



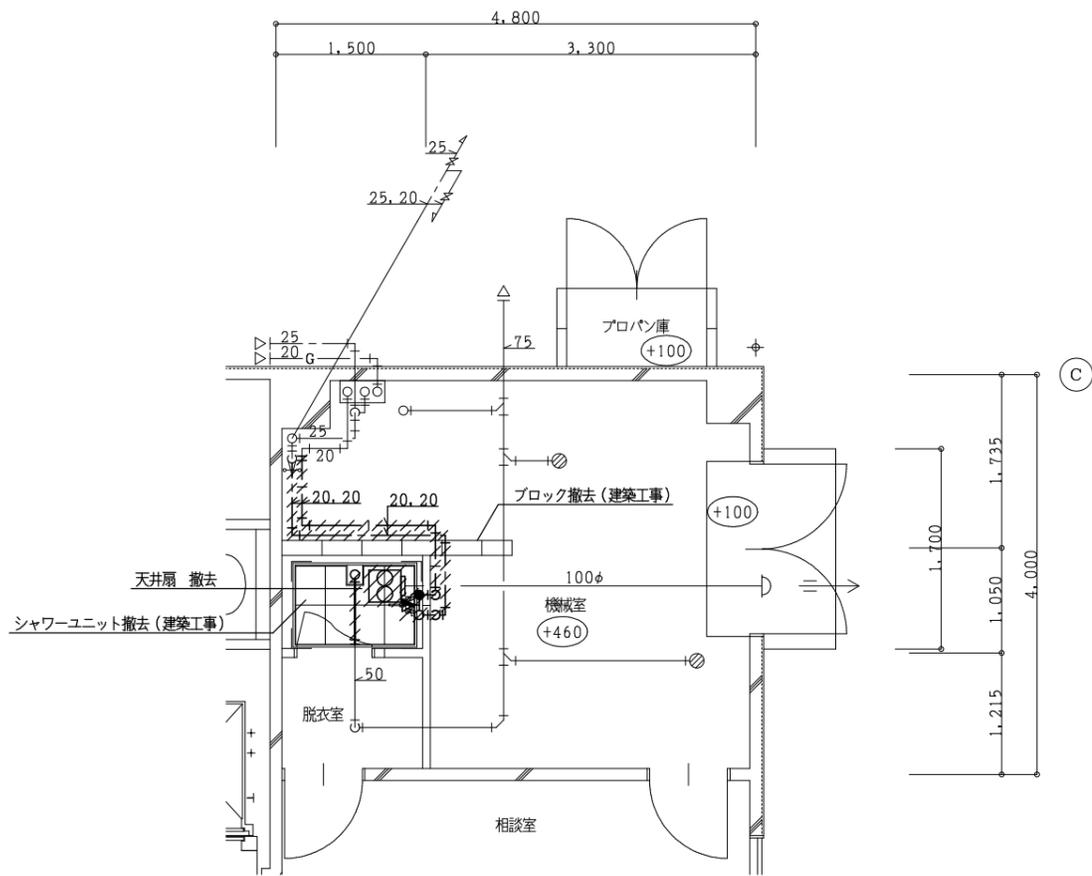
改修前1階平面図 1/100



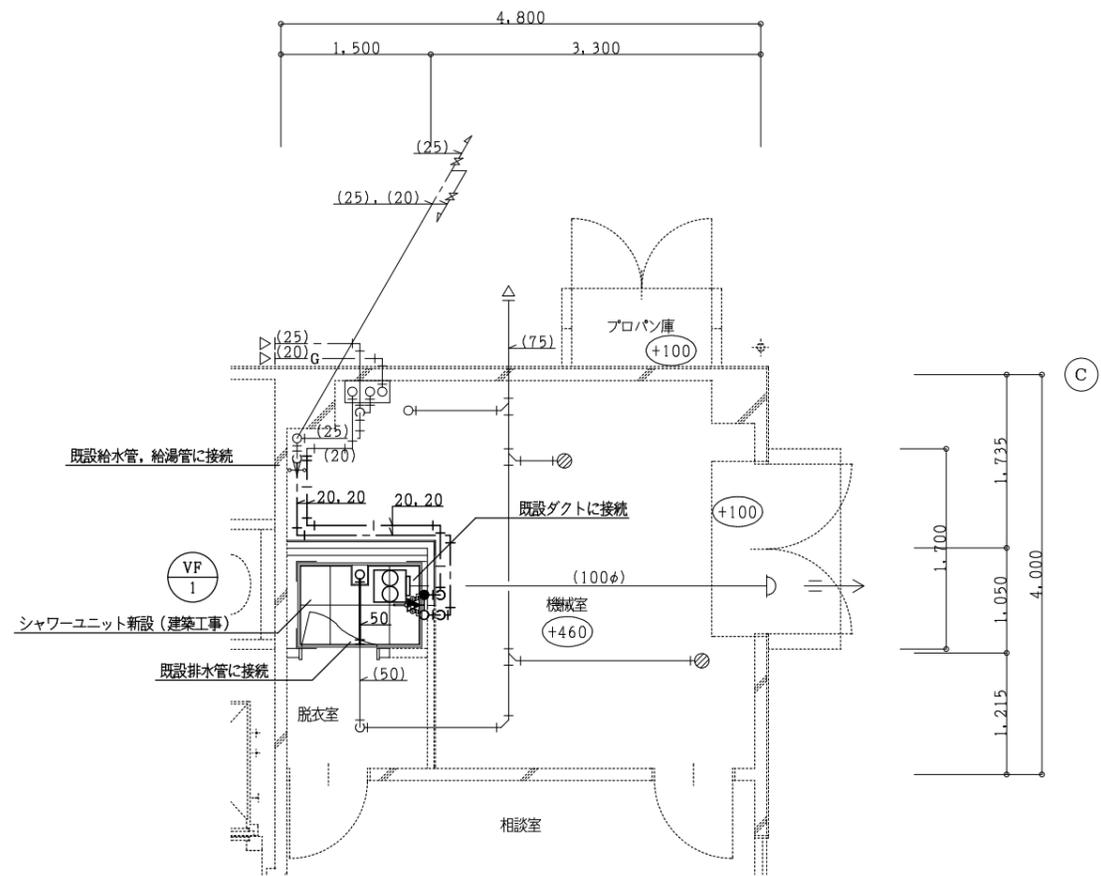
設計に緑を

記事	 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No
				R4 . 6 .	大和人権文化センター改修工事	A3版 71%	
				図面名	衛生設備 改修前1階平面図	縮尺	
						1/100	

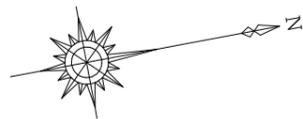
新設機器表						
記号	名称	仕様	電源			台数
			φ	V	kW	
VF-1	天井扇	型式: 低騒音型				1
		仕様: 100φ×50m ³ /h×30Pa	1	100	0.093	
		付属品: 天吊金具				
		三菱電機: VD-10ZC13相当品				



改修前平面詳細図 1/50

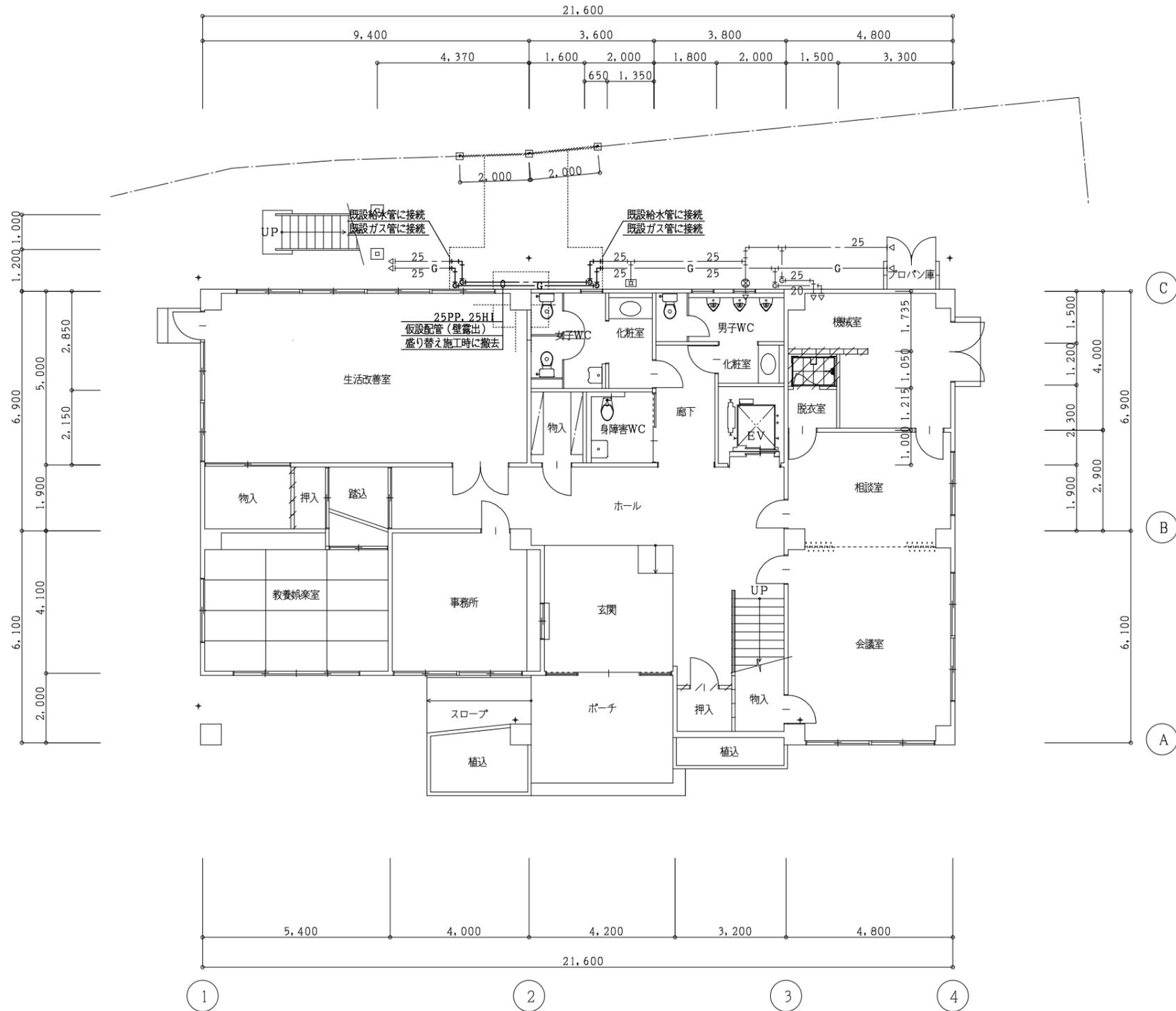
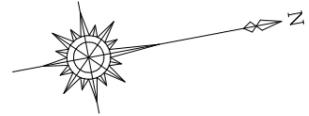


改修後平面詳細図 1/50



設計に緑を

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No
				R4 . 6 .	大和人権文化センター改修工事	A3版 71%	
					図面名	縮尺	
					衛生・換気設備 改修前後平面詳細図	1/50	



仮設 1階平面図 1/100

記事	株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 22(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名 大和人権文化センター改修工事 図面名 衛生設備 仮設 1階平面図	A2版 100%	図面No
				R4 .6.		A3版 71%	
						縮尺	
						1/100	

設計に緑を

参考数量書

工事名称 大和人権文化センター改修工事

工事場所 三原市大和町下徳良

[工事概要]

用途,構造,面積	用途：集会所 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 床面積：544㎡	
工事範囲	建築主体工事	
別途工事	無し	
工期	契約締結日の翌日 ～ 令和5年3月20日	
一般事項		
《工事予算内訳》	合計金額	
〈内訳〉		
区分	金額	概要
設計金額		
消費税額		
合計金額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
改修工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		直接仮設工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し(内部改修)	個別改修	8.6	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	4	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	8.6	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	4	m ²			
養生(内部改修)	搬出入路部分	37.1	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	8.6	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	4	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	搬出入路部分	37.1	m ²			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	10.1	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	10.1	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[土工]						
根切り	小規模土工 -	4	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	1.7	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	3.3	m ³			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホ0.13m ³ 土砂 DID区間有り 24.0km以下	0.7	m ³			
建設発生土処分	場外処分 処分費	0.8	m ³			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	2	往復			
[地業]						
砂利地業	再生クラッシュラン	0.1	m ³			
地盤改良	浅層混合処理工法 六価クロム溶出 試験共	1	式			
[鉄筋]						
異形鉄筋	SD295A D10	1	式			
異形鉄筋	SD295A D13	1	式			
異形鉄筋	SD345 D19	1	式			
鉄筋スクラップ		1	式			

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.1	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.1	t			
[コンクリート]						
無筋コンクリート	Fc=18N/mm ² S=15	1.6	m ³			
普通コンクリート	Fc=24N/mm ² S=15	1.6	m ³			
構造体強度補正值	△3N Fc=27+3=30N/mm ² S=18	1.6	m ³			
コンクリート打設手間	流し込み工法 標準階高 圧送費、基本料別途	1.6	m ³			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	1.6	m ³			
コンクリートポンプ 基本料金		1	回			
[型枠]						
型枠	打放合板型枠B種 耐震改修用 地上軸部 -	3.2	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	3.2	m ²			
[鉄骨]						
鋼管	STK400 ○-165.2*7.1	0.1	t			
切板	SS400 PL-9	0.01	t			

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
切板	SS400 PL-19	0.03	t			
鉄骨スクラップ 控除		▲0.01	t			
アンカーボルト	SS400 M16×400 ワット締め	4	本			
柱均しモルタル	300×200 厚50mm	1	か所			
鉄骨工場加工組立費	耐震改修 鉄骨部分補修	0.1	t			
工場錆止め塗装	K5674	2.3	m ²			
工場溶接費	隅肉6mm換算	2.2	m			
現場建方費	耐震改修 鉄骨部分補修	0.1	t			
アンカーボルト埋込	取付手間 径16	4	本			
現場溶接費	隅肉6mm換算	0.5	m			
鉄骨運搬	4t車	0.1	t			
計						

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強等に伴うその他工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[木工]						
床ラワン合板張り	t=9	3.2	m ²			
転ばし根太組		3.2	m ²			
雑巾摺		7.2	m			
木製四方枠	三方枠;米づか	1	か所			
[屋根及びとい]						
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径75	5.3	m			
縦樋掃除口	75φ用	2	か所			
屋外配管理設	硬質塩化ビニル管 Φ75	2.1	m			
[金属]						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	7.3	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	6.2	m ²			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	1.6	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	6.4	m			

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強等に伴うその他工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[左官]						
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	1	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	0.1	m ²			
下地調整費	モルタル・プaster	1.4	m ²			
[塗装]						
D P 塗り	鉄鋼 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	1.8	m ²			
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RA種(新規面)	1.8	m ²			
[内装]						
ビニル床タイル	半硬質 厚さ2.0 コンポジションビニル床タイルKT 多湿部	0.1	m ²			
ビニル床シート	無地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	0.3	m ²			
ビニル幅木	高さ75	1	m			
ビニル幅木	高さ60	1.8	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地	10.2	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理	0.9	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	6.2	m ²			

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強等に伴うその他工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラパーチン 突付け	0.3	m ²			
壁ビニルクロス張り	量産品	0.9	m ²			
壁SRFシート張り		1	式			
[仕上げユニット]						
シャワーユニット	0812タイプ	1	か所			
[外構]						
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クランツァレン 特に狭い場所 人力	12.4	m ²			
ネットフェンス	H=1,000 基礎3か所共	1	式			
[改修]						
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	3.6	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	1.2	m			
カッター入れ	アスファルト面 厚さ50mm	9.8	m			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積共	0.1	m ³			
CB撤去	人力 集積共	1.6	m ³			
アスファルト舗装撤去	表層50mm	0.6	m ³			

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		補強等に伴うその他工事				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
路盤撤去	厚150mm	1.8	m ³			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	1.4	m ²			
床・縁甲板フローリング撤去	集積共	3.2	m ²			
床下地板撤去	集積共	3.7	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	3.7	m ²			
壁下地撤去	集積共	3.7	m ²			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	1.6	m ²			
天井下地撤去	集積共	1.6	m ²			
ビニル床タイル撤去	一般 集積共	0.8	m ²			
壁下地撤去	集積共	2.1	m ²			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	2.3	m ²			
ビニル幅木撤去	集積共	1.4	m			
壁モルタル・プラスター撤去	集積共	1.4	m ²			
たてどい撤去	VP管 集積共	3.5	m			
ユニットシャワー撤去	0812タイプ	1	か所			

建築工事 細目別内訳

建築改修工事		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[発生材運搬]						
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 13.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 13.0km以下	1.6	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 13.0km以下	0.5	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 13.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 木材類 DID区間無し 13.0km以下	0.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 石こうボード類 DID区間無し 13.0km以下	0.02	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 13.0km以下	2.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間無し 13.0km以下	1.4	m3			
発生材運搬	金属くず	0.01	t			
[発生材処分]						
発生材処分	コンクリート類	0.1	m3			
発生材処分	コンクリートブロック類	1.6	m3			
発生材処分	アスファルト類	0.6	m3			
発生材処分	モルタル類	0.1	m3			

